

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（529）
2. 日時：令和5年6月5日 13時30分～15時35分※一時中断  
16時15分～16時40分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寿企画調査官、宮本上席安全審査官※、  
藤原主任安全審査官、伊藤安全審査官、谷口技術参与、中房技術参与  
技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 原子力設備グループリーダー、他9名  
原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※、他3名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

## 6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第4条 地震による損傷の防止（DB04 r. 3. 19）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第4条 地震による損傷の防止（液状化影響の検討方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁フジワラですそれでは時間になりましたのでヒアリングの方始めたいと思います。泊発電所3号炉の施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針について、こちらの方、
0:00:12	事業者の方から説明してください。
0:00:17	北海道電力の金子です。それでは資料1-1ポイント資料を用いてご説明いたします。本日はですね、前回からの修正点といたしまして、主に、
0:00:29	赤いSAT手法の選定フロー。
0:00:32	と、代表性確認、及び、駅から設定に関わる部分、この2点を、
0:00:39	に関する修正点を中心にご説明いたします。
0:00:43	それではサイトウまず3ページ目お願いいたします。
0:00:49	藤3ページ4ページでは、液状化影響の検討フロー及び主な説明項目における検討方針を示してございまして、
0:00:57	右側の説明項目①という、
0:01:01	まず、解析手法の選定フローに関するシティ回答でございます。
0:01:07	解析手法の選定の考え方というところを黄色ハッチングで修正しておりますけども、
0:01:13	地上化検討対象施設の周辺状況による液状化の影響を踏まえ、解析手法を選定する。
0:01:20	江本いうゴール解析を選定する場合、
0:01:23	以前応力解析により液状化が発生しない場合の耐震評価も行う。
0:01:28	また全応力解析を選定する場合、有効量解析による、したより施設に液状化の影響を及ばないことを確認する。
0:01:38	といった文章に修正しております。
0:01:41	その下の説明項目②、こちら衛藤試料採取位置の代表性に関する指摘回答でございまして、
0:01:50	黄色ハッチング、設工認段階では、追加調査結果を踏まえ、埋め戻しの相対密度等により、敷地を同様の性状を示すエリアに分割して、
0:02:00	液状化強度指定の試料採取位置の代表性を確認することとしております。
0:02:06	4ページ目の、
0:02:08	衛藤説明項目④ですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:12	藤梅本氏のせん断波速度と液状化強度には明確な相関関係は認められないことから、せん断波速度は代表性確認指標に選定しない。
0:02:21	前回までは参考値として扱うとしていたところ、
0:02:25	これを選定しないというふうに修正しております。
0:02:28	あと説明項目もある5ですけれども、
0:02:32	当設置許可段階においては、現在の敷地全体の液状化強度試験結果を用いて保守的に設定した液状化強度特性を、施設の構造成立性評価に用います。
0:02:44	また設工認段階における液状化強度特性は代表性角に行ったエリアごとに設定することを基本とするという旨を記載、修正しております。
0:02:56	続いて6ページ目お願いいたします。
0:03:01	具体的な指摘回答のスライドですけれども、
0:03:08	まず、この指摘事項より浄化検討対象施設が改良地盤に囲まれている場合における地盤の液状化等を考慮しない耐震評価手法を選定する際の考え方について、
0:03:20	以下のオノ山根に示す内容を踏まえて説明すること。
0:03:25	という指摘に対して、
0:03:27	衛藤海藤の黄色ハッチングの矢羽根を修正しております。
0:03:33	まず一つ目構造物周辺に配置されるむティーンコンクリート以下の
0:03:38	※2の通り定義し、解析手法選定フローでは、健全性を確認する物品コンクリートを置換コンクリートを記載してございます。
0:03:48	また置換コンクリートの外側に液状化検討対象層が広範囲に分布する場合、
0:03:54	イコール解析を選定するフロー。
0:03:56	とし、
0:03:57	全応力解析により、記録が発生しない場合、
0:04:02	の耐震評価を行うことを記載してございます。
0:04:07	また施設と岩盤、または隣接構造物の間の埋め戻し等が局所的に分布する場合、
0:04:13	かつ、地下水以深の液状化検討対象層が広範囲に分布しない場合は、全応力解析を選定するフローとし、
0:04:21	有効力解析により、施設液状化の影響が及ばないことを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:26	正確にすること。
0:04:28	を記載してございます。
0:04:31	ここですな下の※2の、
0:04:34	無限コンクリートの定理なんですけども、ちょっとこれを補足させてください。ちょっと誤解を招くような表現なってしまって、申し訳ないんですけども、
0:04:45	そこの三つのMMR置換コンクリート埋戻コンクリート、
0:04:50	この三つはですねいずれも同地盤として扱うというふうに考えてございますけれども、ちょっと説明文が、
0:04:58	MMRと埋戻コンクリートだけ文末、地盤として扱うと。
0:05:03	書いてしまっておりまして、
0:05:06	実際にこの時間②の置換コンクリートについても地盤として、
0:05:10	を使うことを考えております。
0:05:12	またですねこれもちょうと、②番の時間コンクリートのこの文末がちょっと健全性を確認する。
0:05:20	と書いてるんですけども、
0:05:22	実際には①のMMRも、この健全性の確認を行いますので、
0:05:28	ちよつとこの、何を地盤として、
0:05:30	はこの資料を提示した、この三つについてはすべて地盤として扱うということ。
0:05:36	と、どれを、健全性確認、
0:05:39	して、どれを健全性確認しない、評価しないのかっていうのをちよつと、
0:05:43	誤解を招かないような表現にちよつと修正したいと思います。
0:05:47	次のページ名の、
0:05:50	お願いいたします。
0:05:54	とフローの修正点ですけども、
0:05:58	③番以降、評価検討対象施設、
0:06:02	2aとして抽出されたもの。
0:06:06	について、
0:06:08	それ以降のフローを修正してございまして、まず③番で、
0:06:12	地表面や岩盤表面が傾斜している場合、
0:06:16	有効な解析を選定する。
0:06:21	また、④番で、地下水以深の液状化検討対象層が施設と接する場合、これもすごく有効応力解析に流れることとしてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:32	⑤番で施設に接する時間コンクリート、
0:06:36	があり、その外側の地下水以深の液状化検討対象層が広範囲に分布する場合、有効応力解析を選定して、
0:06:45	閉、
0:06:47	時間コンクリート外側の埋め戻しとか、広範囲に分布しない場合に、以前応力解析。
0:06:53	を選定するようなフローとしてございます。
0:06:59	少し飛んで14ページお願いいたします。
0:07:06	ここでは液状化の検討方針を設置許可段階であることを設工認段階でも、書いてございますけども、
0:07:15	まず設置許可段階において、
0:07:17	黄色ハッチングの、
0:07:19	文言を修正しております。液状化検討対象施設の解析手法は、施設の周辺状況による液状化の影響を踏まえて選定する。
0:07:29	有効量解析を選定する場合、
0:07:32	有効解析に加えて、全部解析により液状化が発生しない場合の耐震評価も行い、また、全応力解析を選定する場合、
0:07:41	またこれに加えて、有効力解析により施設の液状化の影響が及ばないことを確認いたします。
0:07:49	設工認段階においては、
0:07:52	埋戻度の液状化強度試験の試料採取位置について、
0:07:56	代表性確認しようとして相対密度を追加した上で、代表性確認を行いまして、
0:08:02	また設置許可段階における粒度分布と、細粒分含有率による代表性確認結果の妥当性を説明いたします。
0:08:11	代表性確認にあたっては、
0:08:14	敷地を同様の性状を示すエリアに分割して、その各エリアに含まれる複数の試験結果を用いて、代表性説明いたします。
0:08:23	有効応力解析に用いる液状化強度特性ですけども、代表性を確認したエリアごとに設定することを基本とします。
0:08:32	ただ、この設定した位置状況特性が設置許可段階における下限値と同程度の場合であったり、明確なエリア分けができない場合は、
0:08:41	敷地全体の液状化強度試験からえられる液状化強度特性が現在示していますか、下限値最下林地。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:48	に設定することを考えております。
0:08:53	この液状化検討対象施設の選定及び解説書を選定フローに従って液状化検討対象施設、
0:09:01	の評価に用いる解析手法を選定しまして、
0:09:05	その上で各解析手法に適用する解析ケースというのを、
0:09:10	選定することを考えております。
0:09:14	また、ちょっと飛びまして26ページお願いいたします。
0:09:25	こちら4章の液状化強度試験の試料採取位置の代表性に関するスライドですけれども、
0:09:34	まず一番上のテキストボックスで、
0:09:37	設置許可段階において代表性確認の指標として用いる物理特性は、以下の観点で選定する。
0:09:43	としまして粒度分布と細粒分含有率を上げております。
0:09:47	前はここにV Sも参考値とするとして、もっと三つを並べて列挙してましたが、粒度A F Cのみ記載しV sを使用しないということ、
0:09:59	英語テキストボックスの一番下の行に、
0:10:02	記載してございます。
0:10:04	矢印の伸びた先のテキストボックスで、
0:10:09	また設工認段階においては、ダイレイタンシー特性と直接関連して浄化強度比と相関が高い、相対密度を
0:10:17	代表性確認指標に追加して説明するという旨を記載してございます。
0:10:23	その下の代表性確認結果とありますけれども、
0:10:28	設置許可段階においてはこの粒度分布とA F Cのみ、この他指標として、
0:10:35	代表性を確認しようとしたんですけれども、
0:10:39	ただ、現状の液状化強度試験の試料採取位置では、1、対象施設の近傍で十分にデータが取得できていないため、追加調査が必要であると判断し、
0:10:50	この施設の近傍で追加調査を実施しまして、
0:10:55	その代表、その追加調査を踏まえた代表性確認結果については、
0:11:00	設工認段階で説明することを考えてございます。
0:11:06	ところで当資料の主な修正点の説明は以上となるんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:12	ちょっとまとめ資料の方でちょっと訂正箇所は2点ほど、
0:11:16	ご説明させていただきます。
0:11:21	すいませんちょっとまとめ資料の通しNo. 21ページ。
0:11:26	お願いいたします。
0:11:31	後、
0:11:32	A3.2-1表、
0:11:37	なんですけれども、
0:11:40	PIb通年類中層タンク室、
0:11:44	の行の右側の方に、施設に耐震性を有する改良地盤が接している。
0:11:50	という記載があるんですけども、
0:11:52	ちょっとこれ修正も例でして、今回定義と無菌コンクリートの定義見直してますのでちょっとこの改良地盤という言葉、
0:12:01	へえ。
0:12:02	適切に今回の定義に倣ってちょっと修正したいと思います。
0:12:09	あともう1点が、まとめ資料の442ページお願いいたします。
0:12:22	等442ページのこの、添付5-8図、
0:12:27	3号ホシノ手法設備工事による施工範囲という図の、
0:12:31	この
0:12:33	青線で囲ったこの手法、取水設備施工範囲、
0:12:39	ちょっとこちらが図示してる範囲がちょっと誤っておりまして実際にはもうちょっと広い範囲が、取水設備施工範囲になりますので、
0:12:47	この加工、青囲みの線の、
0:12:50	範囲を修正させていただきます。申し訳ありませんでした。
0:12:56	これで資料の説明は以上になります。
0:13:00	規制庁藤原です。それでは質疑に入りたいと思います。
0:13:10	規制庁の江崎です。資料1-1の
0:13:13	14ページで、
0:13:15	前た見さしていただいて、そちらの主張したいことはある程度理解してるつもりです。
0:13:22	ただ14ページってそれを何かね。
0:13:26	整理できてないんじゃないかなと思っていて、
0:13:31	基本的に言うと、何がやりたいのかよくわからないけど、事実誤認しかねないような文章になってるっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:37	14 ページの整理かなと思っていて、
0:13:40	まず設置許可段階って言うているけど、これはもう設置許可段階で見通しをつけるための構造成立性を確認するための条件の話をしてるんですよね。
0:13:51	そうですね。前の方にも書いてあったんで、それは理解してますけど。
0:13:55	そうした場合ね。
0:13:57	まず普通、設置許可段階の二つ目の矢羽根。
0:14:03	液化化検討対象施設の解析省は、
0:14:07	何も増えて踏まえて選定するってこと何を言ってるかよくわからないですよって話。
0:14:12	それに対して、明確なのは、一番最後、設置、設工認段階の一番下の矢羽根は、
0:14:22	さっきのフロー説明があったフローに従って選定しますって言うて、やることは明確なんだけど、上はふにやふにやっ書いてあるんで、何やりたいんですかね。
0:14:32	わからないですよ。そういうことですよ。
0:14:35	多分、
0:14:36	はっきりしてるのは、これはさっき僕は見通しをつけるためには何のために何をやるんですかっつたら、構造成立性で構造成立性のターゲットは、じゃあ、海水ポンプで使ったらそれはノーだよ。
0:14:49	皆さんがやろうとまずしているのは、
0:14:52	包丁でだけです。
0:14:54	後々としても斜面とか、
0:14:56	その間んもりと。
0:14:58	その数を覆う道路と率計か何かの、社名安定化なんかでやるかやらないかの話ですよ安定性の問題で、
0:15:07	もうターゲットがはっきりしてるわけだから、
0:15:09	はっきり言うてこういうコール解析でやるんですよ。
0:15:12	皆さんの考えがきっと、
0:15:14	ここで全応力かもね云々言ってるわけじゃないから、
0:15:18	構造成立性で、やるものをまず見通しをつけなきゃいけないものの対象施設が明確なわけで、それはもう液化化の発生の可能性は否定できないわけだからそれイコール解析。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:31	やるとしても、
0:15:32	考えてるわけですよ。そういった話で、多分、
0:15:36	うん。
0:15:38	許可段階ではもう言うコール解析ってことで、税務解析云々って話じゃなくて、
0:15:43	それは、
0:15:45	設工認段階行った時にちゃんと綺麗に整理しますよってことだと思っただけですよ。それがここでは読み取れませんってことですよ。
0:15:53	で、
0:15:54	もう1個、
0:15:55	有効その人設置許可の下の、
0:15:58	三つ目の矢羽根。
0:16:01	ここでは何かすごく細かい話を書いていて、この文章は、むしろ、
0:16:06	ね、有効解析の場合とゼロ解析の話しちゃっていて、これは設置許可で云々と。
0:16:13	書いてもいいんだけど、
0:16:15	むしろこれは設工認の方に書くべき話じゃないですかってことなんですけど、違います。
0:16:21	そうだよ。
0:16:23	ならば、どちらも同じだって言うのであれば、そう書くべきだと思うし、これに対応する部署って設工認もないですよ。
0:16:34	さっき言った話で、全応力の話がどうのこうのってないわけですよもう。
0:16:39	設置許可の段階はもう決め打ちで一応当たり計算をしましょうっていうのが話ですよ。有効解析をしてどの程度の液状化の影響程度があるのかっていうのを把握しましょうというのが、
0:16:51	それで、
0:16:52	防潮でのプロポーションが変わらないことを確認しましょう。
0:16:56	念のために、そういう位置付けですよ。であるならばここでこの設置許可の三つ目の矢羽根って、
0:17:04	逆に言うと、設工認で書くべき話で、
0:17:07	その見直し計算、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:08	当たり計算するところに書くような話ですかという話を書いてもいいんですけどね。
0:17:13	むしろ公認で書くべき話じゃないですかって話だと思うんですけど、いかがですか。
0:17:21	はい北海道電力の辰田です。江崎さんのおっしゃる通りでちょっと、この14ページにつきましては、
0:17:29	衛藤設置許可段階と工認分けて書いたつもりでいるのはちょっとごちゃまぜになっちゃってますおっしゃる通りかと思えます予定では他社の施設の評価に用いる設置許可の話は今膨張ての成立性のものだけ。
0:17:44	それを有効力解析でやっていくっていう話です。
0:17:47	どの記載についても、ちょっと今、12号と3号でエリア分けて液化化パラメータ作ってますけども、それも今のところ、とりあえず今、今の現段階での調査結果に基づいた、
0:18:01	話で不足してるとかって話で留めといて、
0:18:04	追加したものを、さらに許可の段階ではちょっとその辺も含めてサノ業務についてもですね、色彩がごちゃごちゃしてますんで、その辺の許可の段階で何をやるっていう話僥曲
0:18:18	工認段階に何をしてくんだって話をちょっと整理をかけた状態で設置許可段階でやることは、当たり計算なんですよ、見通しをつけるための、
0:18:27	その設計方針が、
0:18:29	成立することの可能性を確認するためのためだけであって、少数アノす。
0:18:36	設置購入の段階っていうのは、詳細設計なんだよね。
0:18:40	だからそこに曖昧さは一つもあってはならないわけだね詳細設計だから、
0:18:45	仮に設工認の、さっき言ったそのあたり計算っていうのは、いわゆるこのぐらいやっとけば、きっと方針は、添付して書いてあることとかそういったのは変わりませんということを確認するための、
0:18:57	検討にしか過ぎないわけだよね。別にそう。
0:19:01	公認を設購入を先駆けて先にやってるわけじゃなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:06	あくまでも見積もりだったら見積もりの当たり計算とかしますよね。それに近いものがあるってそんなにラフなものではないけども、
0:19:13	基本的にはその設置許可で考えている構造や、そういった、
0:19:18	解析手法や物性値があらかた成立することを、
0:19:23	確認するっていうだけだけど、すぎないわけだから、その目的に応じたことをちゃんとしっかり書けばいいなと思います。以上です。
0:19:30	電力の立田です。理解を了解しました。あくまでも包丁での成立性のみ、見通しを得るためのものですのでその辺を記載させていただきたいと思います。
0:19:54	規制庁の伊藤です。私もうちょっとエザキのコメントの間に多様な感じなんですけど、この14ページで、
0:20:01	書いている内容っていうところで、その結局、先ほどと繰り返しになっちゃうかもしれないんですけどその許可段階で何を示して何を説明していいのかわかるか。
0:20:11	設工認段階で何を示して何を説明したいのかわかるかというのが、もうちょっと整理されて数説明できればいいのかなと思ってます。これは記載を正していただいてよろしくをお願いします。
0:20:24	ちょっと聞きたいのがですね、
0:20:27	今、北電が一せ、説明してる内容を踏まえると、
0:20:33	今の許可段階ではその対象施設に対する、その試験位置の代表性っていうのは、示せない。
0:20:40	けども、その液状化強度特性は、
0:20:45	今、下限で設定しますっていうので保守的だから、妥当なんですよっていう説明をこれしようとしてるんですかねちょっと。
0:20:53	何をしようとしてるのか、ちょっと教えていただけますか。
0:21:03	はい。
0:21:08	その点もある。
0:21:10	北海道電力の立田です。今代表性の指標の確認結果としては、
0:21:17	代表性の、
0:21:19	確認指標。
0:21:20	としては、粒度分布とFCだけで、とりあえず、
0:21:25	N値とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:28	V s をと思ったんですけど V s も使わないってことにしては、 今、粒度分布と F C しか今ないので、
0:21:34	言い方はですねとりあえず仮仮置で設置許可をしてますという話 です。
0:21:41	ここ今、
0:21:44	液状化対象検討施設の中で、
0:21:47	近傍でデータがないので、それを取りながら、その設備を網羅し た形での液状化試験のデータをもう 1 回取り直し、追加でとっ て、設置設工認の中でそれを説明をして、
0:22:01	もう 1 回説明をさせていただくのと、
0:22:04	あと、今、同時に相対密度の方も今とってますので設置許可の段 階では、代表性指標に相対密度が加わって、
0:22:14	もう 1 回説明をさせていただこうというところです。従って今の 設置許可の段階では、粒度分布と F C だけの仮置で、
0:22:25	説明をさせていただいてるという状況です。
0:22:29	以上です。
0:22:52	すいません、北海道電力の田澤でちょっと補足追加ですけど も、
0:22:58	今の液状化強度試験の中、データを用いて今 1 人、資料にもあり ますけど 12 号と 3 号のエリアでとりあえず今分けているという状 態です。
0:23:11	その中で、今いろいろとばらついてるところもありますので、
0:23:18	その中でも下限値をとりながら、代表、一番下限値をとっておけ ば、等々での構造成立性には影響ないだろうということで、今そ のような形で考えてございます。
0:23:32	はい。規制庁の伊東です。設工認ではまた追加試験をして、その 液状化強度属性の設定をまた、
0:23:41	12 号とかいうそういう 1 号 3 号の大きな選り分けじゃなくて他の 何か別の選り分けを考えてそこに、
0:23:48	設定それぞれに液状化強度特性を入れていくってということなんで すかね。
0:23:53	そのエリア分けとかっていうのは、下、どのようなエリア分けを 考えてるんですかねちょっとそこら辺がよくわかってなくて、
0:24:02	北海道電力の辰田ですまず防潮てについては、
0:24:07	その追加調査の結果も踏まえて、どうするかあれですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:13	今のデータにプラスして、基準化共同試験を引き直すのか下限値のままでいくかあれですけども、あと追加調査したところにするところについては、液状化検討対象施設近傍でやりますので、
0:24:29	そのエリアを、
0:24:31	工事構造物を尽くした後に埋め戻した、薄まったところですねそのエリアを作るエリア分けをした中での液状化共同
0:24:44	を、
0:24:45	設定しようと考えてますそれもう12号の、
0:24:49	と設備等3号の設備ということで分けようと考えてございます。
0:24:54	以上です。
0:24:56	江藤宗。
0:24:59	そこで、例えば新たに設定したエリアで、試験位置の代表性が示せないってなった場合、その設工認の審査段階で新たに追加試験とかああいう場合もあり得るってことなんですかね今、
0:25:16	追加調査位置だけで設定しようとしているエリアの、
0:25:25	エリアに対する代表性っていうのを示してる見通しは、もう取れてるっていうことなんですけど、ちょっとその辺が、エリアの設定の仕方がいまいまいちよくわかってないんで、どうなるのかなと思ってんすけど。
0:27:29	すいません。庁内打ち合わせ中です。
0:30:06	実際に
0:31:19	庁内の打ち合わせ、終了しました。
0:31:46	はい詳細設計段階で示したいことっていうのはしっかり分かれ何をやりたいのかっていうのがわかるような規制にちょっと今の家段階ではこの
0:31:56	何ですか、エリア分けして、そこ2、
0:32:00	強毒性設定するみたいな、そういった、
0:32:03	記載ですか。うん。それを基本とするって書いてあって、実際何をしようとしてんのかよくわかんないんで、そこら辺もう少しわかりやすく、
0:32:14	やりたいことを書いていただければと思います。
0:32:20	北海道電力の辰田です。
0:32:23	14 ページ目でいくとアノ区設工認に書いてる、三つ目の矢羽根のB文末が基本とするだったりちょっと四つ目の矢羽根も何かどっちやるのかわかんないような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:34	記載になってますので、ちょっとその辺は具体的にNorth記載をさせていただこうと思いますけどちょっと文字数大きくならないようにちょっと工夫させていただきますけれども、
0:32:44	今、うちに移設エアノコ設置許可の中では、12号と3号にとりあえず分けてもらう、契約させていただいてるんですけどもその中でもちょっと、
0:32:55	特に境界線なんかこうちょっとスラブを拾ってきちゃった強度試験、液状化強度試験とかがございますのでその辺を分析しながら、
0:33:06	ちょっとエリア、これから分けようとしてるエリア分けに、できるかどうかも含めて、
0:33:13	設定していくというところをちょっと詳細に経験、記載させていただこうと思います。以上です。
0:33:20	はい。よろしくお願いします。
0:33:25	それとあと若干関連するんですけど、
0:33:29	26 ページ。
0:33:34	ここ代表性確認のまとめみたいなページになってるんですけど。
0:33:40	全体的にちょっと、何を結局言いたいのかなっていうのがわからなくて、結局、許可段階では、これで代表性は示せないっていう理解ですね現在の試験位置だけでは、
0:33:53	代表性を示せないっていう結論になってるってことですかね。
0:33:56	ただそそうならそうって書いて欲しいんですけども。
0:34:02	はい。北海道電力の立田です。
0:34:07	ですね、10、26 ページ目の上の段でいくと、代表性確認指標の選定ということで流動分布AFCだけなので、
0:34:19	代表性示すには、
0:34:23	代表接示すというところにつきましては、試験、液状化票が液状化検討対象施設のエリアを網羅できてないのでそこはまず不足してるって話と、
0:34:36	江藤助教動特性がないのでその辺は、追加調査をしますっていうことなので設置許可の段階では示せてないっていうのが、
0:34:46	結論になってますのでそこをちょっとしっかり書くようにします。
0:34:50	下段の方はちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:54	確認資格、下半分の四角のタイトルが確認結果ってなっちゃって ますけど何か結果を書いていないので、
0:35:01	この辺のタイトルを含めてちょっと適切に表現させていただこう かなと思います。すいません。以上です。
0:35:10	はい。よろしくお願いします。
0:35:15	はい。規制庁藤江です同じく 26 ページちょっとここは、
0:35:21	何ですかね。
0:35:24	26 ページの一番てっぺんの 4 ポツ 1 これこれこれの代表性確認、 これは何か何となくですけど許可段階では確認が多分できないん だったら代表性についてとか、
0:35:36	何かそういうふうなイメージなのかなって思いましたんで、
0:35:39	そういった観点でいくとこの二つ目の、
0:35:44	四角の代表性確認結果というところかなこれだから、代表性。
0:35:50	の、これは何だろうな。
0:35:53	各指標、
0:35:57	うん。
0:36:01	そうです。小中。うん。
0:36:04	うん。これ多分指標と試験値の関係だけを言っているウダ系なの かなと思ったんです私は要は範囲に含まれている、同程度の範囲 である。
0:36:13	ただ、これ、今不足してるから判断した。だから別に結果は別に 書かなくていいのかな。結果、設工認でやるということなんで、
0:36:25	そういう観点ではうん。
0:36:27	そこら辺どう、どうですかね。
0:36:33	はい。北海道電力の立田です。結果、代表性確認結果というより は、
0:36:42	今の中では、代表性を示す指標の設定をこうしたいっていうと ころの記載で、
0:36:53	まず繰り返しになりますけど、粒度分布と、
0:36:55	F Cを使って、
0:36:58	行くっていう話と、今後は、
0:37:05	相対密度を追加してっていう話なので、
0:37:08	それを含めて公認で代表性の確認を、説明をさせていただこうと 思いますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:14	その辺がちょっとごたごたになっているところかと思しますので、許可段階で何をやるっていう話と先ほどのエリアは、エリア分けの話ゴトウ繋がりでいくかという話をちょっと、
0:37:27	このページちょっと再考したいと思います。
0:37:32	はい、規制庁じゃないですわかりました。ちなみにちょっと細かいですけど、26 ページの一番下のマル。
0:37:38	これは何かこれまでの結果から二つの丸があって、
0:37:43	一つ目はこの近傍で調査をし、実施して、確認については設工認で説明するこれわかりますので、二つ目の方でこれ何か何を言いたいんだろうというのがわからなくて、
0:37:53	許可段階における粒度と細粒分含有率代表性確認の。
0:37:58	妥当性を説明。これはあれですかね上の追加調査の結果を用いて
0:38:04	さらに補強するっていうことが言いたいんだったら、ちょっと何か文章がんのわかるとちょっとわかりにくいなという感想だけですけど。
0:38:13	レックの兼子です。また文章ですけども、
0:38:17	ですね今追加調査を踏まえて後粒度細粒分含有率のデータも拡充されますので、
0:38:23	そのデータも踏まえてまた、その周辺調査したカードは液状化強度試験位置の、
0:38:29	指標、
0:38:30	の、全棟程度の範囲であるとかっていうのを再確認しますという意味の、
0:38:36	記載のちょっと言葉足らずな部分あったので、ここまで見直したいと思います。はい。規制庁石原です。ちなみにこれはあれすか相対密度はここに含まれ、
0:38:47	るんですかね。
0:38:49	はい。保険税の金子です。相対密度も、
0:38:52	含まれます。
0:38:56	はい、規制庁じゃないですわかりました。じゃあ、そこは記載いただくのと、
0:39:01	ちょっと、
0:39:03	何か別のところのコメント回答のところの、
0:39:06	ですね例えば 13 ページかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:09	13 ページ開いていただいて指摘事項回答の、これせん断波速度等、その代表性の指標の観点について、
0:39:18	指摘を出しているわけですよ。これ、相対ミツイは何か一切言及はしないのに、この回答のこの一番けつに何かこう、
0:39:26	何だろう相対密度関係なく、ちょっと追加し、相談室を追加してずれてあるんで、ちょっとここに書くのは何か、何となくちょっと違和感があつてですね、細かくとしてはさっきのところかなと思つたんすけど。
0:39:37	どうですかね。
0:39:40	はい、北海道電力の立田ですちょっと指摘回答としてはちょっと適してないと思つたので、ここの13ページからちょっと相対密度の話はちょっと削除させていただいて、
0:39:52	先ほどのところに記載するということで整理をさせていただこうと思つます。以上です。はい。江藤規制庁藤原です。今の話は基本、全体的なこの資料のロジック。
0:40:03	説明事項がどういうふうな論理構成なのかっていうところになりますので、ちょっと何か、多分ですねこれまでのヒアリングで、こちらから出してるコメントをいろいろ反映されたのは理解はしますけど、
0:40:16	全体的にちょっとそういうのは何か1回目を大きな目で見ていただいて、ちゃんと筋が通つた説明になつてるか、その資料がどうなつてるかっていうのをちょっと
0:40:27	今足りてないんでちょっともう一度そこは頭なんですかね。適正化していただきたいと思つますこれ。よろしいですか。
0:40:38	はい。北海道電力の辰田です。いろいろなコメントが一つのスライドに来ちゃつと入っちゃつたりするのでそこがわかりにくくなつてるかなという原因もありますので、
0:40:47	ちょっと全体実ミナミ目を通して修正させていただきます。以上です。
0:40:56	はい、規制庁長です。続いて、3ページをちょっと開いていただいてですね。
0:41:02	越冬
0:41:07	失礼しました4ページか4ページ。
0:41:13	ごめんなさい。3ページ、3ページのですね説明項目①の、
0:41:19	解析手法の選定の考え方のところの二つ目の矢羽根。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:24	有効力解析を選定する場合、全応力解析により、液状化が発生しない場合の耐震評価を行うこれ多分ですね
0:41:33	担当の方がつくられるときは何か意図していること、私もちょっと意図は大体理解はしています。
0:41:39	多分、有効力解析を基本として選定はするんですけども、全応力解析もやりますって多分言いたいんだらうと思うんですけど、ちょっと日本語が気になってないんですよ。
0:41:49	何でここはちょっと
0:41:51	やりたいことが反映できるように文章は見直して欲しいですね、他のところも一緒ですね、要はその一つ下の一緒です。全応力解析を選定するときは、
0:42:02	基本は全力なんですけども、有効応力でもちょっと一応影響をないことを確認する。
0:42:11	もう、もう早々ですね。
0:42:14	多分、どっかのフローで浅香7ページか7ページが一番わかりやすいです。7ページの絵と※3。
0:42:22	※4ですか。
0:42:24	これがさっきの話と一緒に全応力コンサート全応力解析による液状化発生した場合の耐震評価も、
0:42:32	やっぱこの※4も一緒ですね。
0:42:35	も動いてなくても、右ちょっと意図は伝わりますか。
0:42:42	電力金子です。ちょっと言葉足らずの部分がちょっと申し訳ありませんでした。あと、軸となる
0:42:50	有効理解的な税務解析に加えて、
0:42:54	もう一方の解析についてもその評価を行うという。
0:43:00	想定丁寧にちょっと修文したいと思います。
0:43:04	はい。規制庁長です。一応こういった内容もですね前回のヒアリングでこういうところが議論になったっていうのが多分あると思うんですけど。それ多分担当の方だけじゃなくてその上の方もきちんと、
0:43:15	その文章を見て、要は、
0:43:17	ちゃんとは指摘が反映されてるかってのは、再度、もう1回確認をお願いしますよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:26	北海道電力の辰田です了解しました全体ちょっと、こちらは書き過ぎててわかりにくくなってる筋が通ってないというところがございますので、
0:43:37	ちょっと修正をさせていただこうと思います。以上です。
0:43:47	はい。規制庁の伊藤です。私もちょっと細かい日本語だ形なのかもしれないんですけど、
0:43:53	三瓶G、
0:43:56	ノー。
0:43:57	説明項目一位の、
0:43:59	中で、
0:44:01	出てくる、
0:44:03	解析手法の選定の考え方の一つ目の矢羽根、ちょっとこの日本語がちょっとわかりづらいなと思ってて、
0:44:11	周辺状況による液状化の影響っていう、ちょっとワードがいまいちぴんとこなくて、フローでフローを見ると、何してんのかわかるんですけど、フローに従えば、
0:44:23	周辺状況を踏まえてるぐらいなのかなとか思ったりして、斯く斯くなら周辺状況、
0:44:31	に応じた液状化による影響とか何かそういう、日本語になるのかなと思っていて、ちょっとこの、
0:44:38	表ゲインはよくわからないので、修正していただきたいというのがあるんですけど、この点いかがですか。
0:44:46	管理部の金子です。藤先生フローだと岩盤表面が傾斜してるんですとか、検討対象相当施設が接するんですか、そういったいろんな状況を、
0:44:57	を踏まえてこの文章に、
0:45:01	表現したかったわけなんですけどちょっと、
0:45:04	日本語がちょっとわかりにくかったというところで、
0:45:06	総括的な部分もやはりちょっとあるのかなと思いますので、ちょっとわかりやすくなるように適正化したいと思います。以上です。
0:45:14	はい。規制庁の伊藤ですよろしくお願いします。
0:45:20	規制庁藤間です。1点だけちょっと、3ページの説明項目①の下の米印で書いてある。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:27	有効力解析及び全応力解析の解析ケース選定の詳細な考え方については、設工認段階で説明するって書いてますけどこれ、ちょっとごめんなさい。何を。
0:45:38	どういうふうな詳細な考え方なのかっていうのはちょっと理解が私できないんですけど、何を。
0:45:45	設工認でやるって言うてるんでしょうか。
0:45:48	北海道電力の金子ですと、ケース選定の考え方というのは、
0:45:53	と。
0:45:54	藪衛藤。
0:45:56	不確かさの確認のためのその物性値のばらつきですとか
0:46:00	実施の絞り込みミイの考え方ですね。
0:46:06	詳細は、伊勢今検討中で、
0:46:10	是正検討中というところもあるんですけども、
0:46:14	それ設工認段階でちょっと説明させていただきたいなと思って、※をつけさせていただきました。
0:46:23	規制庁家田です。確かにね、先行実績では、それって先送りしてるんだけど、その先送りしたことによって焦げ付いて話が半年も遅れてるんだよね。
0:46:34	実態はそれ考えるとね、今までそうであったとしても反省点からすると、
0:46:41	もうこれって、1月まであるわけですよ、このフェーズは。
0:46:45	それ考えたらある程度
0:46:47	図先行サイトを睨んだ上で、ある程度大方、
0:46:51	施設の設計、構造設計に関わるどころと当然、間接支持各館考えると、床をと関係しますよね。そうずっとそういったケース、
0:47:03	結局増えたり、いろんな話があるわけですよ。それも踏まえた上で、基本的には設工認である程度見通しとしてある方針としてですね。
0:47:13	大方このぐらいの検討をした、するという。
0:47:16	考え方で元によってその全応力場合という効力を踏まえて、かなりいろんなバリエーションって、
0:47:23	他サイト、先行サイトから見るとある程度見えてきてますよねそれが実質的にここでこういった形で検討していくのか、それで十分なのか後から、
0:47:33	追加を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:35	地震動がここ多いので、
0:47:39	ねえ。
0:47:40	機器って、そんなに簡単じゃないじゃないですか。ほぼ全部やれ ってような状態っていうのは、新きが審査官から必ず出るので、 そういったことから考えると、
0:47:52	比較的、どういうふうにこれを処理していくかっていうことをそ っちで考えてるんであればそれはもうあらかじめやった方がよく て、でなければ基本的には、また、
0:48:03	ねえ、このケースはもう地震動が多いから、
0:48:06	他のサイトの倍以上かかるんじゃないですか、下手すりゃ2倍と かとじゃきかなくて3倍4倍かかっちゃう可能性があって、
0:48:14	計算を追加計算するとそういうことを考えたら、これってあまり 遡及先送りするのは、こけ改善係数。
0:48:22	あまりそちらとしても得策じゃないと思うんですがいかがです か。
0:48:25	必ずも絶対あるっていうことでは、宇和いえるあれはないんです けど。
0:48:33	北海道電力河端です。今、江崎さんから出た通り地震のうち、も のすごい多いので、
0:48:39	機電側でも、どうするっていうのは、ちょっといろいろ、
0:48:43	時間
0:48:46	で、少し、
0:48:58	規制庁だけです基本的にはね、計算してみてどう。
0:49:02	省略できるかっていう話は全然なくて、全部計算してによる情報 で全部出さざるをえないですよ、設工認って。
0:49:08	だからみんなすごく長引いちゃってんだよね。
0:49:11	てっていうのは、自分たちの尺度に、
0:49:15	尺度しかもそれを定性的に定量的じゃなくて定性的には判断し て、こういうふうに計算を、ケースを省略しましたってそれが合 理的な説明ができてればいいんだけど、
0:49:25	でもそれが合理的な説明を判断できる基準がどこにあるのかって いうと計算結果落としことにしないとできないってのは関西電力 がみんな数がみんなそういう状態になっていて、
0:49:36	そうすると、結局は計算しなきゃいけない、東海第2もそうでし たけど、そういうことを考えると非常にそこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:43	先に問題を先送りするよりはもうここまでやり、やり切りますっていうふうに決めてしまった方が僕はいいと思いますよ。基本的にそれだっていうのはもう、
0:49:53	先行サイトでも実績があるので、それを踏まえてどうするっていうよりは、もうそれ以上のことは変えられないんだと僕は思います。それを変えるがあるんであればそれは実績の評価書になりますんで、
0:50:06	それは設工認でちゃんと説明してください。設置許可で説明してください。そういうことだと思えます。
0:50:15	北海道電力神戸ですご趣旨わかりました全ケースやないとそれが妥当かとかいうのも、わかんないだろうっていうご指摘かと思えます。
0:50:26	いずれにしろこの記載は設置許可の、
0:50:30	キーに書く記載でもないので、とりあえず分けさせていただこうと思えますけれども、
0:50:37	よろしいですか。
0:50:38	はい。
0:50:39	うん。
0:50:48	わかりました。ちょっと設置許可を、最後まではもう少し時間あるので、この点についてはすいません社内に持ち帰って検討いたしますので育ててください。
0:52:21	北海道電力の星です。すいません。今屋外重要土木構造物等ですね、解析の方針については、先行サイトに倣って、解析をしようと思っております。
0:52:34	今設置許可段階ですので、具体的にどのケースがどうっていったところを、具体的に示すことは考えておりませんが、ただ今後、
0:52:45	屋外重要土木交通部の断面選定の考え方とかそういったところ、ご説明をする予定でありますので、そん中でですね、ある程度の考え方について、
0:52:57	ご説明をできればいいかなというふうに考えてます基本的には先行サイトを、
0:53:05	の実績を踏まえてですね、設定しようというふうに考えているというのが、基本的な考え方でございます。以上です。
0:53:17	規制庁だけです。今不調を。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	北海道電力で言われてることは大体理解はしてるんですけど、少なくとも
0:53:25	マトリックス作ってますね。東海第二課初めて作ったと思うんですけど、ああいったマトリックスは誰でも示していただいて、それを穴埋めしていくのはそれはね。
0:53:36	他の他社と同じやり方のフローチャートがあるじゃないですか。そういった形のとっていかののか。
0:53:43	それとは違った独自路線ですね、絞り込みを考えていくのかっていうことがあるんであればそれはそれで宣言してもらう必要があると思います。ほとんどそれが変わらないっていうんであれば、
0:53:54	同じような何て言うんすかね。
0:53:57	ケースのマトリックス表ありますよねとフローチャート、
0:54:00	お示すだけだと思うので、それであればそれは変わらないんだと思うんで、それは機器、FRS、機器へのFRS塗装。
0:54:10	設備設備耐震。
0:54:12	設備の構造、強度に関わる部分。
0:54:15	2種類のものであったと思うんで、それをちゃんと明示していただければ、
0:54:21	いいのかなと思いますけど、そういったイメージで多分お話しされてると理解しましたがそれでよろしいですよ。
0:54:28	はい。北海道電力の星でございます。今江崎さんがおっしゃられた考え方と、同様でございます。以上です。
0:54:39	はい、では規制庁フジイアビルその他と、まずは説明事項の不整合だったり或いは論理構成に関して規制庁側から
0:54:48	ウェブで参加の方も含めてよろしいですか。
0:54:51	はい。
0:54:52	では、じゃあ、その次としてMMRとか置換コンクリート三次コンクリートの、ちょっとテーマに移りたいと思います。ちょっと、置換コンクリート、ちょっと私がちょっと今話させいただきますけども、
0:55:04	何か今日説明の中で何だっけな、置換コンクリートは地盤ですって話を、
0:55:11	言われてましたですね。
0:55:16	で、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:18	地盤であって、健全性を確認。大江さんで私なんか地盤って言う と3条で、滑りの安定性評価っちゅうのはどっちで、要は滑らな い。
0:55:28	地盤としてですね、多分支持地盤としてかな、
0:55:31	というふうにちょっとイメージがあってそれとこの健全性の確認 との関係って、
0:55:36	どうでしたっけ。
0:55:44	ガイド電力の金子でセト。
0:55:46	この資料。
0:55:48	この資料で言うところの健全性の確認っていう、
0:55:51	そうですねちょっとまあ、
0:55:53	もう先行サイトもちょっと参考にしながらですけども、
0:55:58	イトウ、
0:56:00	せん断共同で及びイワマ引っ張り共同。
0:56:04	の、
0:56:09	とある
0:56:11	あそこに局所安全係数を確認して、
0:56:15	藤堂温乃。はい。定例に行き、危惧しているっていうことを、
0:56:26	置換コンクリートに対して、場所を調査しているっていう事例あ りましたので、
0:56:34	ます。そう。
0:56:37	そういうイメージで健全性の表。
0:56:41	確認するというふうに、
0:56:42	記載をしております。
0:56:48	通過回答になってないなんてないかもしれないですけど、
0:56:54	規制庁長です。ちょっとまとめ資料の31ページちょっと開いても らっていいですか。ちょっと具体的な施設を見ながらのほうが話 しやすいかもしれないと思ったんで、
0:57:04	まとめの31で、これちなみに置換コンクリートを使ってるのは、 ここだ形ですかね、この取水ピットスクリーン室の横。
0:57:24	東海林金子です。この資料中だとそうですし、スクリーン室の横 の、
0:57:29	置換コンクリートのみです。
0:57:36	その通りです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:58:10	回動電力金子です。衛藤すいませんまとめ資料ちょっとさ、37 ページをちょっとご覧ください。
0:58:18	ちょっとここではですねでも、防水撃に対しては、
0:58:22	この該当箇所は
0:58:27	岩盤を代替する。
0:58:30	いや、いや、
0:58:31	いや、効果があるわけであるなんてさ、これ。
0:59:00	今、長南医長説明少々お待ちください。
0:59:25	はい。北海道電力の星でございます。今まとめ資料の30、1 ページですね防水平均の下にある無菌のコンクリートこれを、
0:59:36	置換コンクリートという表現、
0:59:40	してございますけれどもまず位置付けとしては防水駅の下にある、深いところに看板があるのでそれまである程度高さのところまで、
0:59:52	支持させるためにMMRという形で、がまず一番の位置付けにはなります。ただし、その横のところにある、取水ピットスクリーン指数にとって、
1:00:06	Dの江藤解析にもですねこの辺りのMMRの度圧を低減させる効果を見込んだ形で、
1:00:16	解析の方で実施しようかなというふうにちょっと考えておりますのでそういった位置付けで、機械コンクリートという形、両方の機能があるということで、アノかAか記載しております。ただ健全性とかを確認すると、
1:00:32	いう行為は当然すべきかというふうに思っておりますのでそのような記載にさせていただいておりますので、
1:00:39	施設区分なんです。
1:00:40	施設。
1:00:41	これがもしここに岩盤があったとしたらそれ時間岩盤というんですか。
1:00:48	理屈だけど、
1:00:49	そういうことなんだよね。だから、その施設としてのその区分って考えたときに、我々はか、これは岩盤なのかMMRなのかって言ったときに、
1:01:00	この31 ページの棒水撃RCCへRC造度の防水液がSクラスなので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:10	あとSクラスの下に岩盤岩着させたいということであって、基本的にはその
1:01:17	もう、うん、施設としてはそう。
1:01:20	役割としては紙支持性能を確保するために作ってるわけですよ ね。
1:01:25	なんでそれで、たまたま岩盤相当なので、
1:01:31	横にある施設に関しては
1:01:33	岩盤の層、
1:01:36	低ひずみ効果を期待して設計するのが現実的なのでそうしたいと 言ってるだけにしかすぎないわけで、
1:01:45	いわゆる、いろんな開始の耐震解析の解析モデルのモデル化によ ってですね、施設の
1:01:53	何て言うんですか、区分が変わるってのはおかしい。
1:01:57	じゃないかっていうことなんです、
1:01:58	突然CクラスもSクラスになるとかそんなトンネルビヨンドの話 になっちゃいませんかって話なのでね、言ってるのは、その辺か ら、よくよく上流から考えていただくと、そこの位置付けっての は明確化されるんじゃないかと。
1:02:15	はい。北海道電力の星です。今のご説明を聞いて、改めてまず、 この
1:02:26	コンクリートを設ける。第1の理由は何なのか。そこで、その位 置付けが決まって、それに付随して、どういった効果を我々とし て期待するかといったところは二の次だと。その施設の名称の付 け方っていったところはまず第1の
1:02:43	目的2順次するべきだというふうなご指摘だと思います確かにそ の通りだと思いますのでこの辺りは見直させていただきます。あ りがとうございます。
1:03:21	すいません今
1:03:23	藤原伊澤君言った通り置換コンクリートまず目的は何かっていう ことをまず定義した上で、それ一の目的を守るための機能は何か っていうのをまずまとめて、
1:03:35	その機能を守るためには、その支持性の活動、
1:03:40	あと、MMRからコンクリート自体のその躯体のひび割れとか貫 通ひび割れがないかというふうにまとめたらいかがでしょうか。 ちょっと論理的ではないような話が結構あったんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:52	まず、目的、機能を明確にした方がいいと思います。以上です。
1:04:01	はい。北海道電力星です。はい。ご指摘承知いたしました。その点踏まえて見直しをさせていただきたいと思います。
1:04:19	はい。
1:04:22	話がいろいろ飛びますけど、
1:04:26	基本的に先ほどのウ、エと資料1-1のところ、
1:04:31	置換コンクリートであり、見どころとこの負債を、いろいろと、
1:04:37	特に6ページ目のところにあった話だと思います。
1:04:43	構造物出し上に配置される無菌コンクリートがあって、どういう機能で設置されてるか。
1:04:50	それ一設置されてるものに従って、当然その期機能にしたがって、健全性を評価するのかわからないのかというのが変わってきて、
1:05:01	健全性の評価に何をキタニを、
1:05:04	これ
1:05:05	どういう指標で確認するのか。
1:05:08	ていう流れになるので、最初2まめだことするのか違う、他のものに考えるのかがってことが先にあるので、そこを具体的にやっぱり整理していただいて、その上で、
1:05:22	健全性評価が何を厳選して評価としていくのかがっていうところを、明らかにしていけないと、
1:05:29	この資料全体の中で、アノむ、前回の時にも銀コンクリートって書いてあったところが、置換コンクリートなりマーメイドロックなりに変わってます。ただ、
1:05:41	先ほどの同じ図2、表現がコンクリートと豆でオクとまたあったりして、わかりにくいので、やっぱり、資料全体の統一感が全くなくて、言葉が使われてる感じがあります。
1:05:56	ので、どういう機能であるものをどう評価して、ここにメトロ区として記載するのかどうかということ、きっちり中で、電力さんの中で整理していただいた上で、
1:06:10	特性をまとめていただきたいなと思いますけど、いかがでしょうか。
1:06:18	北海道電力の星です。はい。ご指摘承知いたしました。繰り返しになりますけれども、その無菌コンクリートに期待する役割に応じて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:28	どのような、まずそこを明確にした上で名称を与えていくということかと思えます。このMMR置換コンクリート埋戻しコンクリート、
1:06:41	これ先行サイトの実績等でですねこのような区分け、説明をしていたということでその知り、それを参考にさせていただいて、このような記載させていただいておりますけれども、
1:06:57	ちょっと、何を期待する、目的ですねその辺りの記載が不足してるかと思えますんで、その辺りを整理させていただいて、改めてお示ししたいと思えます。
1:07:09	はい。この辺は
1:07:12	先行するプラントでも、やっぱり論議があって、最初からこういう形でまとまってるわけじゃなかったんで、やっぱりいろいろと協議していく中で、収束していった話なので、
1:07:26	その辺はよく、中身をさ、参照していただいた上でご判断いただければと思えます。
1:07:33	はい。北海道電力の星です。承知いたしました。よろしく申し上げます。
1:07:39	それではまとめ資料について若干コメントさせていただきます。
1:07:44	1-2の資料の
1:07:47	2728ページ目、これ、燃料の長郵送のタンクの断面です。
1:07:54	これは、
1:07:57	基本的に埋め戻しコンクリート、
1:08:01	とそろえ戻し動という形で分けてるんですけど、
1:08:05	基本的にこの辺はメモの人と埋戻しコンクリートの使い分けはどういう使い分けをして、こういう、
1:08:12	記載にする、具体的にされてるのか教えてください。
1:08:21	本店、対応を願いますか。
1:08:30	北海道電力の大澤です。今、
1:08:33	ご指摘いただいたVisionビーズ燃料油貯蔵タンク室の埋め戻し度と埋め戻しのコンクリートの使い分けというところですが、
1:08:41	今、
1:08:46	タンク室にお金を置いてですね付帯は基本的にこの埋戻しコンクリートの上端T8.8メーターになります、こちら側のスラブ天端になっておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:57	埋め戻しはその上に向かってるっていうところで基本的にこの躯体の横については、こちら、評価上も埋め込み効果と見込んでおりますのでこの埋め戻しのコンクリートと岩盤をもって、
1:09:12	液状化影響ないようにということで整理をしてございます。それから植野上本書については評価条件について特に期待していないということで、今、大澤君ホシコしていない、聞こえますか、なっております。
1:09:26	以上です。
1:09:30	大澤君、聞こえてます。
1:09:34	はい。どうも。はい。もう1回説明してもらっていいすかね大分なんか、
1:09:38	ゆっくり運ゆっくりししゃべってもらえます。何か。
1:09:41	早くなっちゃって、ちょっと聞き取れないんで、お願いします。
1:09:47	わかりましたすみませんもう一度、あと、
1:09:50	回答させていただきます。今、
1:09:55	このパンク室につきましては、
1:09:58	埋め戻しコンクリートの上端、ATP8.8メーターになりますがここが躯体の天端スラブ天端になっておりますので、
1:10:08	この躯体側面に拘束効果を期待するっていう観点で、このTP8.8メーターまでは、埋め戻しどコンクリート埋戻しコンクリート、
1:10:18	側面を固めているという、整理をしております。
1:10:22	以上であります。
1:10:27	そうすると8.8メートルも上の上の埋め戻しとのところは、地下水位よりも下なので、ここは液状化するっていうイメージになるんですか、どういうふうに考えるんでしょうか。
1:10:43	北海道電力の大澤です。ご指摘の通りここは地下水以深になりますので、その液状化
1:10:52	の有無というところは
1:10:54	可能性としてはあるかと考えておりますが、ただ基本的に今申し上げた通り、構造物の上部に接しているのは基本的にここ上載炉というような扱いで考えておりましたので、
1:11:05	これがその下の躯体に対してその液状化による影響を与えるということ
1:11:12	評価上はない、考えにくいかなというふうに整理をしているところでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:16	以上です。
1:11:18	はい。この辺
1:11:20	この年輸送のタンク室は今、現状は、建築所掌か何かでやろうとされてるんだと思いますけども、実態として、
1:11:31	土木構築物等の評価と、いや、実際この部分が、やり方考え方が違うようなそういう内容に、この辺を、
1:11:42	きっちりそういう趣旨、妥当だということはちゃんとわかるようにして、土木建築関係なく、この考え方について、きっちり統一して、
1:11:56	示していただくようにお願いします。
1:12:12	本店、問題ないでしょうか。
1:12:22	すいません。北海道電力長田承知いたしましたのちょっと整理したいと思います。
1:12:27	はい。よろしくお願いします。
1:12:29	それから 29 ページ目のところ、取水口のところですよ。
1:12:35	取水口のところは、
1:12:40	結局地下水位はこの数字このところだけは、
1:12:45	0.5 メートル。
1:12:46	にすると、
1:12:47	いう流れになってるように思われますけれども、
1:12:51	基本的に 0.5 よりも深いところは、
1:12:57	液状化の対象範囲から浅いところは、机上の検討にからは、の対象にする。
1:13:04	するのかその辺、
1:13:06	この辺の考え方はどういうふうな考え方になってるか教えてください。
1:13:16	はい。北海道電力の星でございます。基本的にはこの取水口については、防潮ての外側に位置しております、
1:13:27	今地下水の設定を 0.55 といったところに設定しておりますので、その下は液状化駅を考えると、上の部分については液状化影響を考えないという評価になるかというふうに今考えてございます。
1:13:43	そうするとそういう使い分けをして他場も考えるってことになるわけですね。はい。現段階ではそのようなことで考えてございます。わかりました。その辺は考慮入れて、
1:13:56	検討していただけるということですね。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:02	それからですね 31 ページ目のところですけども、題して、なんかイメージですけど、
1:14:09	ごめんなさい、30、
1:14:13	2 ページ目のところですね。
1:14:15	取水ピットのポンプ室の断面がありますけれども、
1:14:19	これも含めてですけども、
1:14:23	ピット本ベースの断面の説明に、
1:14:28	協力しちゃってるので、
1:14:30	このピンピットポンプの周りの地質断状況がよくわからないんです。
1:14:37	で、
1:14:37	隣接する構造物が、この横にストレーナ室があった上で、
1:14:45	地盤があるんだと思いますけど、もう少し広い範囲で、
1:14:51	実際の解析本解析をされるときは当然もっと広いイメージでされるんだと思いますけど、
1:14:58	その辺の状況がわかるような表現をしていただきたいと思います。ということは、このピットポンプだけじゃなくて、ピットスクリーン室の断面というお話ですけど、
1:15:10	要は、
1:15:12	注目してる。
1:15:14	施設の周りの地質の、
1:15:18	関係がもう少しわかるように、
1:15:21	実際、解析に、
1:15:23	考慮されるときモデルに近いイメージで、どういう分布になってるのかってことをわかるようにしといてください。
1:15:35	北海道電力の室田です。液状化検討対象施設のですね周辺の地質状況がもう少しわかるようなですね、図に、
1:15:45	適正化したいと思います以上です。はい。よろしく申し上げます。その辺で先ほど話してた、豆ドロップとか地下5グリッドのイメージもわかってくると思いますので、よろしく申し上げます。
1:15:58	以上です。
1:16:08	鶴来常務。
1:16:12	うーん。
1:16:19	すいません規制庁中尾さんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:21	戸松は資料の 26 ページ。
1:16:25	用いる発電機立てを見ると、
1:16:28	従来発電機の右側が、
1:16:31	埋戻しどうなってるんですね。
1:16:33	これ
1:16:35	ミウラから話があったと思ってんですけどもバックバネは直列盤 なんで、
1:16:40	基礎地盤と同じように、片山には入れないと、その影響があるん じゃないかということを考えますと、
1:16:48	I a 図とか B I b 数の燃料を貯蔵タンクみたいに MMR で結びす べきと考えてるんですけど、
1:16:59	こちら辺については、どこを考えましょうか。
1:17:05	本店対応お願いします。
1:17:10	はい。北海道電力大澤です。今ご指摘いただいた 26 ページ、ディー ゼル発電機建屋の側方の埋め戻し道路についてですが、ディー ゼル発電機建屋については、今
1:17:22	応答解析上ですね、埋め込み効果は特に見込んでおりませんので その観点でこの埋め戻しについては特に影響ないものというふう に整理をしております。以上です。低調中澤です。
1:17:33	この後とってき湿度なんで、地下水も高いんで、液状化も考慮す るといことでしょうか。それで建屋を、
1:17:41	を十分満足してるという、
1:17:44	解析もやってるとい、
1:17:46	ことで理解してよろしいでしょうか。
1:17:53	北海道電力をされた評価上はですね、議事録影響については特段 評価する予定はございませんでしたが今こちら、
1:18:01	江藤 26 ページの第 3.2-3 図ですね、頭のところで埋め戻し動の 下にこの集水管というものがございましてこちら集水管がこの今 埋め戻しの中間で出てきているような、
1:18:14	配置になっておりますので、こちらで基本的に地下水は基礎下レ ベルまで抑えられているものという前提で評価を考えておりました。
1:18:24	考え方としては今、以上です。はい、規制庁中沢です。この集水 管というのは S s - A に対応して、なおかつ、この原子炉建屋ま での

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:18:37	分で十分上げるてツジも電源もちゃんと指があるという考えで設計されてるんでしょうか。
1:18:46	はい。北海道電力をされるこちら修正管につきましては四条のページ11ですね地下水排水設備の
1:18:55	設計方針の中でSS耐震性を持たせるというような今整理をしておりますんで別途
1:19:01	計算等をする予定で考えております。以上です。
1:19:06	了解しました
1:19:08	中心トイレ解析で水が抜けると。
1:19:11	いうことまでちゃんと確認の上で、埋め戻し等で解析するという事で理解しましたが、これでよろしいでしょうか。
1:19:23	はい。北海道電力の佐藤先生と、はい、地下水については何ら基礎下において比較的という前提で特段その場においてアノゴトウせず評価するという事で予定しております。以上です。
1:19:37	無地下水の流動については、ちゃんと
1:19:40	解析で評価するという事ですね、先生持つように、それだけ確認したいんですけどよろしいでしょうか。
1:19:52	北海道電力の太田です今現状地下水位の設定方針といたしましては主要建屋まで時ディーゼル発電機建屋も含めてですが、この地下水排水設備、集水管ですね、こちら、
1:20:05	スズキの維持することをもって基本的に地下水を期さ基礎下に設定するという設定方針としているところでした。解析等ということではなくて、ところの、
1:20:18	地下水排水設備を設置していることをもって基礎下に設定するという方針、あと、認識しております。以上です。はい。
1:20:27	わかりました。はい。
1:20:33	あと、資料2の36ページとか39ページ41ページに、
1:20:42	例えば36ページ見ますと、この中での下の
1:20:48	ところにコンクリートって書いてあんですね、これ、コンクリートって、また新しい定義ができたんでしょうか。
1:20:56	図面もあるじゃないかなと思うんですけど。
1:20:59	コンクリートっていうのは、
1:21:01	どういう定義で作ったのかそれともMMRなのか教えてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:10	北海道電力の辰田です。前回までここを置き換えコンクリートって記載させていただいたんですが先ほどの三つの分類の関係で、
1:21:20	置換コンクリート地盤で整理しようとしてたので、こちら防潮底の方は施設のコンクリートですので、ちょっとその辺を、
1:21:30	色、区分けするためにこの36ページの、この防潮ての下部は、コンクリートとして表現して、成し直したんです。それで、
1:21:40	ちょっと今の三つの分類の話もごさいますので、ちょっと膨張ての、名称は、施設のコンクリート、
1:21:48	防潮堤防ですね、という意味で、ちょっとネーミングまた変わるかもしれませんけど、全体の先ほどの整理等含めて、
1:21:55	整理をさせていただきます。
1:21:58	浅見規制庁の河瀬です。このコンクリートというのは無菌コンクリートとして、いわゆるせん断とか、のチェックはすると、もう圧縮は多分大丈夫なんでしょうけど、そういう躯体の、
1:22:12	に対するチェックをするという考え。
1:22:15	ものと、取り扱ってよろしいですか。
1:22:17	北海道電力の立田です。もともと傍聴低としてのコンクリートですので、いや、その前に役割が、
1:22:28	沈下しないとか高さの一時とかで止水性の維持とかごさいますんでその辺も含めてチェックをする予定です。役割として施設という分類をしてごさいますので、確認をさせ、する予定です。
1:22:41	すいません。今言った、ハウジョウ店については安定性の話ありますよね、支持力活動。
1:22:49	とかですね転倒しないとか、そういう役割というのと、あと躯体に対して、せん断応力が超えないとかですね日々貫通ひび割れが生じない、止水性その二つの
1:23:03	役割があると思うんですけど、コンクリートっていう構造物にすると、その二つの役割、両方とも満足しないといけないと思うんで、その点はちゃんとチェックするという理解でよろしいでしょうか。
1:23:16	北海道電力の田沢その辺は防潮堤外の資料で整理をさせていただきますしておりますけども、今中臼田さんのご理解の通りで結構です。
1:24:42	緊張します。続きたいと思います。
1:24:50	規制庁の伊藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:53	それ解析手法の選定のあたりでちょっと聞きたいんですけど。
1:24:58	パワーポイントの7ページ。
1:25:08	これは記載だけなんですけども、個名の2の話ですかね。フローの中でYESの分かれるところの、補足の記載ですかね。
1:25:19	施設と岩盤または隣接構造物の間に埋め戻し埋戻しコンクリートが局所的に分布する場合は4、4でノーと判断するっていう規制なんですけど、
1:25:30	ここ多分ポイン等、
1:25:33	等んなってるのが施設に液状カー。
1:25:37	検討対象層が接していたとしても、イエスに判断しないでノーで流れますよっていうところを説明してるものだと思うので、キーとなる局所的っていうところ。
1:25:49	もう少し何かわかるような記載にして欲しいなと思っていて、
1:25:56	何ですかね例えば、
1:25:59	施設に接するメモ°C度埋戻しコンクリートの分布が局所的である場合はとか、そういった形で、何かわかるようにしてもらえますかね。
1:26:12	趣旨理解できますかね。
1:26:15	ナイトウ電力の金子です。この局所的に、
1:26:20	今日、埋め戻し道明寺コンクリートが局所的に分布する場合っていう、
1:26:25	今度、
1:26:27	この局長的っていう表これだけの表現だとちょっと、
1:26:31	足りてないというような、
1:26:33	情報をわかりにくいっていうような趣旨でよろしかったんですか。規制庁の伊藤です液状化検討対象層が施設に接していてもノーと判断するポイントは何かっていったらその局所的に分布しているっていうことだと思いますので、
1:26:48	それがわかるように、もう少しわかりやすくなるように記載をお願いしますというところです。はい。北海道電力の金子です。ご指摘の趣旨理解しました。ちょっと、もうちょっとわかりやすくなるように、
1:26:59	文章を修正したいと思います。
1:27:03	はい。規制庁の伊藤です後、
1:27:06	これも記載だけです9ページなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:13	ちょっと敷地の平面図ですけど、
1:27:18	凡例がちょっと見づらくて、C追加試験候補1、
1:27:26	今小薄い黄色のようなもので示されてるんですけどちょっと他の等結構色が似ていて、この大きな平面図だとまだ見えるんですけど、まとめ資料とか小さめになってくると。
1:27:38	わかりにくくなってくるんで、ここちょっと色分けもう少し工夫してもらいたいなと思うんですけど、いかがですか。
1:27:45	北海道電力金子です。江藤ソネ資料全体通してこの平面図、
1:27:50	の凡例がちょっと見にくい箇所あるかと思imasuので
1:27:55	見やすくなるように適正化したいと思います。
1:27:59	はい。規制庁の伊藤です等、20 ページの
1:28:06	フロー。
1:28:08	なんですけども、
1:28:11	これは建築関係なんですけど③の観点のところ、
1:28:17	施設が耐震性を有している改良地盤等や云々って書いてあって今改良地盤等っていうのは、
1:28:25	これは何を示してるんですかねどれに当たるようなものなんですかね、何か定義分け三つブレークをされてると思うんですけど。
1:28:45	藤街道電力の金子です。申し訳ありませんこのパワポの20 ページもちょっと修正漏れですね。改良地盤という言葉、
1:28:53	また定義し直してますので、
1:28:56	この文言は修正させていただく。
1:28:59	つきます。
1:29:03	はい。
1:29:05	はい。定義に従って適正化してもらえればと思います。
1:29:12	はい。私からは以上です。
1:29:17	規制庁藤間です。今のようなところっていうのは明らかに建築土木で議論したやつが、建築の分野で反映されてないという一環で、
1:29:27	本当に上の人をちゃんと見てるんですかっていう、素朴な疑問にこれ直結しますので、きちっともう1回資料は、再度全体的に見て、議論のところは確実に、
1:29:37	反映いただけるようお願いしますは分野ごとで、縦割りにするんじゃないでなくて全体を横断してやっていただけるようお願いしますこの辺ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:47	北海道電力浜です至らず申し訳ありません。建築部員を含めて、
1:29:53	また全体的な目できちんと確認していきたいと思います。申し訳 ございませんでした。
1:29:58	はい。規制庁藤間です。私の方からもちよっと記載だけですけど も2ページ目の方で
1:30:06	ところの、
1:30:07	右下の四角で、今回の説明内容ということで、①から⑤について の内容が書かれているので、
1:30:15	②から③、③ってのは具体的内容がある程度分かれて要はせん断 波速度は使わないとかですね。
1:30:23	わかんないけどこの①と⑤だけがすごいなんかざっくりとして、 例えば⑤でいくと、これこれこれこれこれについて説明する、も うちよっと何かこう、
1:30:34	これは何だ許可で話すやつをそこに話したって話、議論があった と思うんでそういったものでちよっといわゆる許可段階としてこ ういうやるとか、
1:30:45	そこにちゃんとやるとか、これ①も同じですね何かちよっと、
1:30:48	2ポツ目の有効力解析を行う際に、全応力解析に位置付け説明する って言われても、もうちよっと何か細かく、
1:30:56	何か、何をやろうとしてるのか何となくイメージを開けるような 文章に、
1:31:00	やっていただけたらと思います。
1:31:02	言うといいですかね。
1:31:05	北海道電力です。衛藤ソネ本日の
1:31:08	前半の方で議論をさせていただいた、
1:31:11	修正等を踏まえまして、この2ページのこの表の中の文章をより 詳細に記載したいと思います。以上です。
1:31:21	はい。規制庁藤原です。続きまして3ページ目のですね、
1:31:26	説明項目②の下から真ん中の矢羽根かな。
1:31:32	設工認段階ではごめんなさいその一つ目の矢羽根の最後の方に、 追加調査を計画するっていうことと、あと設工認段階、二つ目の 矢羽根かな、追加調査結果を踏まえ、
1:31:44	ちよっとお聞きしたいのはこの追加調査っていつやるんでしょ うかっていう話で、これはあれですかね設置許可段階でもうすでに 今やろうとしてるものもあったり或いは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:55	許可から設工認の間までに何かやるものとか、何かいろいろな何か時期があろうかと思うんですけどコンテナで追加調査で、時期ってどういうふうにお考えですか。
1:32:10	北海道電力の立田です。
1:32:13	その調査、追加調査については今、調査時期については今、
1:32:19	実施中。
1:32:21	です。
1:32:22	現場で、
1:32:24	はい。
1:32:26	結果については早急に取りまとめようとしていて、
1:32:33	その結果についてはせん、工認段階で説明をするという予定に考えてございます。
1:32:41	はい規制庁志賀ですいや今の追加調査は今実際、もうすでに始めていますけどもただそれは許可で説明をし、するものではなくっていう、
1:32:52	組成理解でよろしいですか。はい。はい。その通りです。
1:32:56	はい。わかりましたそこはまた、わかりました。
1:33:05	次 10、
1:33:06	そっか、1 ページ目とかちょっと。
1:33:11	そうですね 10 ページ目開いていただいて、
1:33:14	ちょっと今日の冒頭でもちょっとお話があったように、要は、今後設工認なんかで訳を何かな、何がしか、
1:33:23	今考えてる時っていうのんに、こういった整理分析定数を今流動分布とか、或いはですね、液状化強度とかでもいろいろやろうとしてるけど、
1:33:34	何かそれに使えるような材料っていうのは何か。
1:33:38	ここに書くことっていうのはできないんでしょうかね何かちょっとこういう何か状況はわかるけど何かちょっと、今回はそこまでは至らないから、ちょっとすようなんですか、追加調査を。
1:33:49	やるにあたってこういうところをちょっと重点的にやるんだっていうのが、なかなかちょっと今見えなかったんですね。
1:33:54	その点でどうなんでしょうね。何かもうちょっと、
1:33:57	何かこういうふうな状況がわかるような、例えばなんか結構海川の方で今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:02	海側の方でこすスナガワ様、埋め戻しの中に砂がちょっとまじってる傾向がある。
1:34:09	許可段階ではそれはでも、保守的にやるでも設工認段階でちょっともしかしたら、
1:34:14	限定できるかもしれないみたいなちょっと何か、最終的に全体のロジックに対するこの分析値なんか本当紐づけができたらいいなと思ったんですけど、どうですかね。
1:34:24	はい。北海道電力の立田です。この10ページと、1112ページところセット、シリーズになってますけど、3枚1組になってございますので、
1:34:35	ちょっと申し上げたいのは11ページの液状化試験やった結果、12号と3号右左で分かれてますけども、砂部分が多いものが、
1:34:46	それを含めた液状化試験の結果が、また12ページ目見せ、整理してというところなので、
1:34:53	その辺のこの11ページ12ページの内容を、そういう結果、分析、関西だと思って、
1:35:03	取った資料が、砂分も含まれていたという話も含めてちょっと、
1:35:07	平面位置も使いながらですね。
1:35:10	10ページ目ちょっとまとめをまとめて加瀬記載をさせていただいて、その
1:35:16	エリア分けをするんだというところに繋がるような記載をちょっと挟んで、
1:35:22	この10ページに記載をしようかなと考えてございます。
1:35:25	以上です。はい。規制庁じゃないですか。特に10ページ絶対やるといふわけじゃなくて、あくまでも私が言いたいのは、そのエリア分けっていうところに、最終的に繋がるような何か、何がしかの情報はこの資料にあると。
1:35:37	まあいいな。ちょっと私、何となくもうここにあったらいいと思ったんですけど別にそこは、
1:35:43	計画、
1:35:52	打ち上げたい。
1:36:04	北海道電力の辰田です整理、今この資料作っていく中でも見通しがあると思って、チャレンジしてございますのでその辺をばっかエリア分けをしていく。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:17	尾藤見通しは書けないかもしれませんがその辺の、どうしてエリア分けをしていくんだというロジックを再整理をさせていただこうと思います。以上です。はい規制庁そうですねそういうところとあとそれに伴って追加調査と同じと。
1:36:32	やるべきところというのが定まってきましたね当然施設の周辺に加えて、いやこういう観点で追加調査をやるとか、そういうのがあろうかと思うんですすでに今やってるかもしんないですけど、
1:36:41	そういうところちょっとじゃ補強をお願いします。だから、次の以降なんだろうなんか今、粒度分布だとか言ってたんですけど、液状化共同そのもの、
1:36:52	なんかこう海、海側或いは陸側で何かこう、
1:36:55	何か、
1:36:58	どこら辺がでかいとかいう、何かありそうですかね。
1:37:01	そこまでちょっと今よくわからない状況ですか。こっちも聞くだけですけど。
1:37:09	北海道電力の立田です。
1:37:13	12 ページのスライドでいくとこれが液状化強度のプロットになっていくんで左側の1、一、二号の埋戻し等につきましてはこの黄色のハッチングしているところ、これが、
1:37:26	ちょっと取った深さにもよるんですけど、
1:37:29	砂分が多いところがあったり、場合によっては
1:37:34	管。
1:37:36	大きいものもあったりして、
1:37:38	ちょっと12号の方は、
1:37:41	ちょっと何とも言えないっていうようなところが、
1:37:46	ちょっと正直なところでより海側、
1:37:50	敷地から遠い側が小さい形が液状化強度としては小さい傾向かなという印象があります。
1:37:59	3合目落とし等につきましてはちょっと取ったエリアが、割と敷地内であることと、あと加治の方海側の方でほんともっと変わった砂層がありますのでこの
1:38:11	12 ページの埋戻し像の中には砂層が、プロットされてない、別な須佐ソースが相当処理整理されてますので、
1:38:21	三郷戻しにつきましては、材料的にも、岩砕岩砕なんですけど、比較的大きめ液状化強度が大きい、前末、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:38:33	月1もちょっと1年後に比べると狭いので、
1:38:37	材料も金率、同じようなもので、大体、12号より大きいかなって というような比較ぐらいしか今できてません。3号としてはそんなに 違いがないかなと思ってます。以上です。
1:38:52	はい規制庁藤原です。うんそうですねなんか今のような説明とい う何か、許可段階でまだちょっとこういう状況というのがあっ て、追加調査でそこら辺ちょっと、
1:39:03	いやエリア分けの所を保健情報として何かやる。さっきなんか液 状化強度に関する何か考察、皆さん何か何となくあったら、寄居
1:39:13	今後の説明が、
1:39:15	そちらの方調査の追加の説明もしやすいでしょうし、と思ったん ですけど、どうですかね、そういうところで、補強できますか。北 海道電力の辰田です今申し上げた話は、記載できますので、エリ ア分けの話とか、
1:39:30	許可段階でのを設定する見通しという点で記載を、
1:39:35	追加させていただこうと思います以上です。はい。規制庁志田で す。わかりました。続きまして、23ページ開いていただいて、こ れは記載だけですけども、
1:39:45	23ページ、たくさん表のナカニシ説明書がたくさんあって、
1:39:50	真ん中の膨張で、これに関して③、地表面や岩盤表面が傾斜して るっていうところ、防潮底は何となく傾斜してるイエスに、
1:40:02	思ったんですけどこれノーでしたっけ。
1:40:04	さっきのまとめ資料36とか見ても何か傾斜してる。
1:40:08	ように見えるんですか。
1:40:36	お待ちください。
1:40:47	北海道電力の辰田ですすみませんまずまとめ資料の先ほどの膨張で もう看板斜めになってましたので、ちょっとここ、すみません誤 記ということで、
1:40:58	③のところでYESということで修正をした、いいと思いたす が、
1:41:05	修正させていただきます。
1:41:07	すみません。はい。はい。
1:41:10	ちょっと見直す種さんのところの方からエースにすることで考え たいと思います。以上です。
1:41:46	規制庁の仲長田です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:49	す、まとめ資料1-2の17ページなんですけど、
1:41:55	先ほどから話が出てましたけど、
1:42:00	いわゆる上位クラスの機器配管ケーブルを支持する構造査定について応答スペクトルを算出し、設備に提示する必要があるんですけどその時に、
1:42:12	液状化する場合有効力の場合と全応力の場合の使い分けや両方やるとか、これについてのやっぱり基本的な評価方針というのは、
1:42:23	許可段階で書くべきだと思うんですけど、ここは構造物だけ書いてあるんですけど、
1:42:30	聞く前の応答スペクトルの受け渡しについて図、の考え方を追加していただければと思います。先ほどの議論も踏まえて、その方やった追加の方。
1:42:42	お願いできればと思います。いかがでしょうか。
1:42:47	はい。
1:42:49	北海道電力川元です。ちょっと記載の方、機器分も含めてこうい
1:42:56	う すいません。記載の方、気分も含めて
1:43:01	どういようになるかっていうのを検討したいと思います。以上
1:43:05	です。
1:43:05	はいよろしくお願ひします。
1:43:07	続けて簡単な話なんですけど、10隣の18ページに、これ図で薄く見ると何か今度は書いてあるんですね。
1:43:15	このコンタっていうのは多分高さがコンターと思うので、
1:43:21	単純にこれ、
1:43:22	標高コンターとか何かわかるようにしといてもらえばと思ひ
1:43:29	ます。
1:43:29	よろしいでしょうか。はい。北海道電力金子です。この地下水の分布のコンターの、
1:43:36	ここの数字が何なのかというのをちょっと凡例でちょっと追加したいと思ひ
1:43:41	ます。
1:43:41	以上です。
1:43:42	よろしくお願ひします。
1:43:44	続けて同じ資料の42ページ。
1:43:48	第3報、3ポツ2の19ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:52	貯留堰のことなんです液状化とは直接関係しないんですけど、ここで衝突防止工と、
1:43:59	底盤コンクリートの間に構造目地が入ってるんですけど、貯留堰と底盤コンクリートの間にこれ目地あるんでしょうかと。
1:44:09	何かこの図を見ると構造明治あるのかないのかわかんなかったんで、書くんだったら全部書けばいいなと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:44:20	北海道電力の室田です。貯留堰と底盤コンクリートの間に明治が設置されてるかどうかについてちょっと確認させていただきます。別途回答させていただきます以上です。
1:44:30	はい。よろしくお願いします。
1:44:33	私から以上です。
1:44:35	どっちですか。規制庁藤江ですちょっと中尾さんがさっき言った、まとめの17ページこれパワポでも同じようなフローがあってそこに、
1:44:43	今中坂の問いかけで反映させますという話があったんですけど、ちょっとごめんなさい。今の話とパワポ資料が変わりますっていうことになるんですか。それとも、
1:44:55	今の話っちゃうのは、これから確か榎木さん、今日前段で話をしたような解析ケースの、きちっとした明確化宇和島どれやるとかああいう話だ。
1:45:08	そっちでやるのかそれとも今のパワポを変えるのかってこれ、どっちを言われてるんでしたっけ。そこだけちょっとはつきりさせておいてもらっていいですか。
1:45:17	すいません。
1:45:18	はい。
1:45:22	機器の影響今後の話とさせていただきますと思います。ここは床応答っていう観点は書いてございますのでちょっと
1:45:32	現在のところは、このぐらいでちょっと
1:45:36	させていただいて、良いどういったケースを解析するとか、そういったことは
1:45:43	こちらの方から提示させていただきたいと考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:56	聞いたけど整理のところをどこでされるのかということだけは、設置許可で説明するにしてもね、契約した大友須田から、耐震設計方針という大きな枠の中で、
1:46:07	説明するのか、
1:46:12	その液状化という狭義のところをぜひ評価するのか、説明するのかどっちかと。
1:46:25	床応答のお話なので全体としてちょっと整理させていただきたいと思います。以上です。
1:47:19	はい、既設のタニグチです。
1:47:23	17 ページ目のところの、
1:47:26	上にあります。
1:47:28	建物構築物の劇場可能選定及び解析手法選定フローってやつですけど。
1:47:37	上のフローは、解析手法の選定のフローにはなってないですよね。
1:47:44	北は、
1:47:46	屋外重要動向と構造物は全応力というコード、応力解析の解析中ほど、
1:47:53	フローになってるんですけど、
1:47:55	これは、
1:47:56	解析手法の選定ではなくて、評価のフローなんですけど、
1:48:02	これ位置付け若干違うように思うんですがいかがでしょうか。
1:48:23	はい。北海道電力の金子です。この家、建物構築物のフローにつきましても、
1:48:30	ちょっと最後行き着く先がこのゆどういう解析の解析手法が有効量解析の税務解析なのかっていう、
1:48:38	ちょっとこの書きぶりについてちょっと社内で検討させていただいて、
1:48:43	必要に応じてこのフローを修正したいと思います。はい。よろしくお願いします。
1:48:50	その流れでですね、ちょっと見ていったんですけど、
1:48:54	建物構築物については、結果的には 10、
1:49:01	21 ページ目のところ、
1:49:05	建物構築物については、液状化の検討対象施設の選定をして、
1:49:13	基本的には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:15	施設の周辺の地下質疑が十分低い。
1:49:19	頑張るん設置されてる周辺地盤が岩盤等であるっていうのが、
1:49:25	BはB I Iの燃料貯貯郵送タンク室だけで、
1:49:30	それ以外は全部液状化対象外って書いてあるんです。
1:49:35	内容は、このフローで検討した結果として、
1:49:39	もう液状化の対象。
1:49:42	施設、全部入らない形の位置付けになってるんですけど、
1:49:47	そういうふうに呼んでいいんですか。
1:49:52	北海道電力の金子です。おっしゃる通りで
1:49:55	建物構築物についてはこのフロー。
1:49:58	の中で、すべて丸一番下②番で、
1:50:02	液状化検討対象外の施設に、
1:50:05	落ちる。
1:50:08	結果となっております。
1:50:09	丸さんはやらずに終わってるって位置付けのフローになってるってことですよ。イメージは。
1:50:16	はい、おっしゃる通りです。その辺が流れとしてその辺を、一体ことは何となくわかるんですけど。
1:50:23	フローは書いてあって、その結果こうでしたっていうのが何となく書いてあるので、
1:50:30	その辺をきっちり、やっぱり書くなら書くっていうことをして、
1:50:37	していかないといけないのかなと思いました。
1:50:39	それで、この辺非常に微妙で、
1:50:44	15 ページ目のところ、
1:50:48	これ建物構築物だけ見ると、
1:50:51	地下水の設定については先ほどもちょっと話ありましたけど、
1:50:56	原子炉建屋から I a II の燃料貯蔵タンク室までは、
1:51:01	建屋の基礎の底盤底面が底面の下にある、シフトで下げる。
1:51:08	で、ただ、BはB t oだけは地表面にありますっていう位置付けになってて、
1:51:14	その辺の表現が、
1:51:16	27 ページ目、28 ページ目。
1:51:23	27 ページ目の、湾の方は下の数字ペットは生きてるんですけどっていう表現なってるんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:30	それで、
1:51:31	びわ別は、
1:51:33	下の収税ピット修正、システムは、
1:51:37	号炉に入れてない、定期付になってるように書いてあるので、
1:51:41	この辺、先ほどの26ページ目の、
1:51:46	ディーゼル発電機建屋についても、
1:51:49	下の雪庇と働いてるような表現になってるので、
1:51:53	この辺、地下水の書き方が非常にわかりにくいので、
1:51:59	きっちり取水ピットまで下げてる、集積はまた下げてるっていうような位置付けの表現にするなり、
1:52:06	きっちり書き方を、表現を、
1:52:10	確認しておいていただきたいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:52:13	そういう見方を読み取り方を私はしたんですけど、それでいいのかどうかも、
1:52:19	教えてください。
1:52:21	北海道電力河本です。ちょっとすいません資料わかりにくかったと思うんですけども、26ページのディーゼル発電機建屋は、集水管下に、
1:52:33	潜ってますということと、あと右の27ページの方はですね上にB湾水のやつが載ってるんですけども、下の方はちょっとすみません、ワン越になっておりましてM I Sの方アノ集水管ありと。
1:52:48	次のページんとところを見ていただくとB版B i zの方は集水管ありませんので、こういった関係で先ほどのようなことになってますので、そういったところが
1:52:59	整合とれてわかりやすいようにということだと思しますので、
1:53:04	エーワンと、bワンドも下がって、当然、従来、話の中で、この場で評価するとかそういうのも含めて、
1:53:15	鍵書きっぷりがいろいろとあるんだと思いますけど、きっちりその辺の整合性をとってってください。よろしくお願いします。はい。資料館で、その内容にしたいと思います。
1:53:26	はい。以上です。
1:53:38	はい。規制庁中房です。
1:53:41	資料1-1の11ページ見ていただけますか。
1:53:45	これのアノール。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:47	理科カワセ曲線の、
1:53:49	ボーリング本ある。
1:53:52	丸井の2-6とかRE-7-21って、
1:53:57	これってー。
1:53:59	この1-1の資料の中に、このボーリングの
1:54:04	位置は書いてあるんですけど、これ、
1:54:08	ていうのは、その実際のこの
1:54:12	R1-2-6とか、これの番号のボーリング自体はこの資料1-1の中 では読み切れないですよ。
1:54:20	このボリュームがすごく多分標高を表してると思うんで、これが 資料を、
1:54:28	1-2の、例えば、
1:54:30	462ページ。
1:54:34	を見ればわかるとか、ちゃんと注意書きかがないと。
1:54:38	わからないと思うんですね、どこの、李柿木加瀬曲線のボーリン グのどの標高を持ってきてるか。
1:54:45	これはちゃんと書くべきだと思うんですけど、修正の方。
1:54:49	よろしいでしょうか。
1:54:52	北海道電力の金子です。確かにパウポの資料では、ある意味です かそのボーリングの位置、
1:54:59	平面的な位置しか記載がなくて、添付資料の方にはその深度方向 の
1:55:05	そのさらに詳細な番号がつけられている、いますので、
1:55:09	その添付を参照する。
1:55:12	参照すればわかる。
1:55:14	ていような
1:55:16	参照先をちょっと明示して、
1:55:23	記載の適正化を図っていきたいと思います。
1:55:27	はい。よろしくお願いします。
1:55:30	続きまして、資料1-2の、
1:55:33	486ページ。
1:55:37	これ
1:55:39	黄色いマーカーを入れている。
1:55:43	ところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:44	粒径の小さいにれきまじりシルトが確認された理由としてはってうんって書いてあって、
1:55:51	重機の走行により、深部浅い部分の細粒化した箇所、または路面路盤材料等の
1:56:01	粒径の小さい箇所が採取されたためと想定されると書いてあるんですね。
1:56:07	これってよくこの文章だけじゃわかんないんですけど、この
1:56:12	3号埋め立て地っていうのは安山岩で破碎した土砂なので、
1:56:17	裁量便が大きくてもですね組成数が薄い大きい時か水
1:56:23	いわゆる、
1:56:24	モリタてのときに、ど粒子が檀家してコラプスが起こってる可能性もあるんじゃないかと思うと思いました。
1:56:33	実際安山岩自体のコラプス数は起こる可能性があるっていうことでエメックスと、昔の道路公団も見て言ってるんで、
1:56:44	実際、原子力発電所のこういう埋め立て重要な埋め立てっていうのは少なくとも、
1:56:50	追加岩石曲線とか目戻し管理するとか、粒度調整してると思ったんですけど、ここら辺ってしてないっていう話だったんで、
1:56:59	こういうコラプスが起こるような、岩盤だったんでしょうかと。
1:57:04	もし起こるとすれば、
1:57:06	工場を道路部分については今後置こうなんて給水によって、さらなる沈下が起こる可能性がある。
1:57:15	のではないのでしょうかと。
1:57:18	ここら辺アノモリの沈下管理とか何かやってれば、もうほとんど沈下収まってるとか。
1:57:24	何かあればいいんですけど、ここら辺について北電さんはどういうふうな考えでしょうか、教えてください。
1:57:37	はい。北海道電力の立田です。
1:57:39	衛藤。ちょっとちょっと、
1:57:42	菅、
1:57:44	何ていうんでしょう。
1:57:46	意味がちょっと勘違いして伝わってしまったかなと思ってちょっと黄色のマーキングところは修正をさせていただき、行こうかなと考えてますけども。
1:57:55	実際にはこの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:57:58	486のタイトルにありますかBF3の2っていうこの場所はですね、
1:58:03	この水路の
1:58:07	段取りが、実際建設時にあってこの赤い図面でいくと赤い発表破線のところが工事中道路。
1:58:16	でした。
1:58:17	そこが、安山岩質のものもついただけではなくてですねちょっと、
1:58:26	細かい、
1:58:28	砂と、
1:58:30	採石方向特別にこうもついていますので、
1:58:34	ちょっとその辺の表現を適正化させていただきたいのと、安山岩が何か変化して、こういう所細粒化したっていうわけではないのでその辺をちょっと改めさせていただきたいと思いますが、
1:58:49	いかがですか。了解しました。安東沈下管理とか当然やってると思うんですけども、落ち着いてるっていうことで、ただ表現の見直しだけでよろしい。
1:58:59	いやそういう場合だったら表現の見直しでよろしいと思うんですけど、これって沈下管理やってるんでしょうか。
1:59:06	沈下管理というよりはちょっと今の既存分前まであった防潮庭の真下ということもありですねちょっと今施工もちょっと、
1:59:17	表明しちゃってるものでちょっとそれについて、追加管理というのはしてないです。これって置き換えるとか、改良するということで、
1:59:26	セメント分入れるんだったら特に問題はないと思うんですけど、そういうのも踏まえてしっかり表現変えて欲しいんですけど、ちょっと
1:59:35	不安になるような書き方をしてたもんで、よろしくお願ひします。北海道電力の辰田です。わかりました冒頭で側でのちょっと位置でもありますので、
1:59:46	ちょっとその辺を吉川将来将来とか今後置き換わるというところの表現をさせていただこうと思います。以上です。
1:59:53	よろしくお願ひします。あと私から、資料1-4、これ単に単純な話なんですけど1-4の5分の4ページの、
2:00:04	No.14、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:06	D、
2:00:08	この資料反映箇所、
2:00:11	降雨資格で別紙 9。
2:00:14	添付 5 って書いてあるんですけどこれ添付 5 の中でなくて、添付 なんだと思いますけど、
2:00:20	これちょっと見てたら、添付 5 に物がなくて添付の班にあったと 思うんで、
2:00:26	プルーム、水の方は修正の方お願いします。
2:00:38	はい。他電力、金子です。ヒアリングコメントの資料反映箇所につ きましてちょっと、もう一度すみません見直しまして、
2:00:48	該当ページ、正しくなるように修正いたします。
2:00:53	以上です。
2:00:54	ちょっと一旦飛ばして、
2:00:56	規制庁藤原です。ちょっと今庁内の急遽打ち合わせが入りました ので一旦ちょっとヒアリングは中断させていただきます。
2:01:05	はい規制庁藤野です。お待たせしましたちょっと今庁内の打ち合 わせが今終わりましたので、それはヒアリングの方を再開したい と思います。
2:01:12	そしたら私の方からちょっとミウラ価値と預かってる今野季沙伊 井に関するちょっとお話をさせていただきます。資料 1-2、まと め資料、
2:01:23	の方の 24 ページ。
2:01:26	開いてください。
2:01:28	24 ページですね。
2:01:29	こちらに、
2:01:32	これ原子炉建屋と補助建屋図が載ってるんですけどその図の右側の 方に F A II のタンク室っちゃうのがありまして、詳細は、
2:01:42	次ページと、黒い文字で書かれてるんですけど、次のページを見る と多分これが載ってなくて、多分 27 ページに載ってるんだと思 うんですね、実際誤記訂正をちょっとこれ、
2:01:53	お願いしたいと思いますこの点いかがですか。
2:01:56	北海道電力兼子です。詳細は次ページと書いているところ。はい。 正しくは 27 ページに記載してますのでこれ修正いたします。
2:02:05	はい。規制庁藤原ですそれは続きましてすんま 27 ページのところ のお話なんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:11	これはですね図のタイトルは、
2:02:19	ごめんなさい図はI aつうの。
2:02:24	燃料タンク室を駄目なんですけどこの1図かな、五つの方が何かB案B I Iになっているので、この間の動きだと思えますこの辺修正。
2:02:34	いただけますか。
2:02:36	はい。北海道電力金子です。申し訳ございません。27 ページの上の、実は、
2:02:42	正しくは26 ページで示してる図と同じものを載せるべきでした。この点修正いたします。
2:02:51	はい規制庁藤原です。
2:02:53	続きまして40 ページ、
2:02:58	見ていただいて、40 ページの断面図で、
2:03:03	何だっけ、この赤枠で囲っているのが対象施設。
2:03:06	議事課検討対象施設候補施設か。
2:03:09	これになんか例えば39 ページだとナカ矢印で、逆流防止設備と書いてあるので、同様に40 ページ及び、その次の41 ページですか、矢印である施設の名前をつけてください。
2:03:22	いかがですか。
2:03:24	北海道での金子です。はい。40 ページ41 ページにつきまして、対象施設、引き出し線で名称を記載したいと思えます。
2:03:34	はい。規制庁藤原です。都築。同じく40 ページのところで、
2:03:39	流路縮小工の構造図ってこれなんか、何となく降るようなイメージがあって例えば何かありましたっけ、ブレースでしたっけ、何か
2:03:47	つけてるような図になってたと思うんで、打ち合わせし、できれば最新のやつに反映いただいた方が良いのかと思えますがいかがですか。
2:03:56	はい。北海道電力金子です。今最新の図面確認しまして流量縮小工のこの断面図反映したいと思えます。
2:04:07	はい。規制庁藤原です。それとその他、全体通じ江藤規制庁で参加している方で何かございますか。
2:04:24	規制庁の江寄ですが多分後からまた確認していくと思うんですが、
2:04:28	衛藤半田これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:31	紙、資料番号の
2:04:34	なんつたらいいんだ。
2:04:37	ごめんなさい。
2:04:41	資料の1-4ですね資料1-4で、
2:04:45	幾つかちょっとコメントがあるんですよね、回答の中で、
2:04:53	一つが、
2:04:57	これか。
2:04:59	5分の4ページと、
2:05:03	12番、No.12ですね、ここに関してはさっきさっき出ていたものにするとかですねそういう適正化はあるとは思いますがあと、
2:05:15	解析ケースの選定の話ですね文章を省くという話になってましたがそういった話があるんですが、ごめんなさい。
2:05:22	それはちょっと適正化の範囲だと思うんですけど、刀禰。
2:05:25	コメントとしてあるのは、15番かな。
2:05:28	15番で、ところでいわゆる超追加調査位置、いわゆる取水口近傍に関しては、
2:05:38	もう少し液状化、
2:05:40	追加試験を考えた方がいいんじゃないかと前回のコメントでした。それに対して、一応ある伊奈のように、液状化が小さくなる度層が出動することはないと考えられることからという話あるんですけど、
2:05:54	ここに関して、どこにこう書いてあるのかっていうことで、
2:05:58	少なくともね、施行のときこうしましたっていうだけじゃ根拠不足で、
2:06:04	1手に分かれます。少なくともですねやるんであれ、そうこれをね、
2:06:10	駅ある伊奈のような駅長強度が小さいと層が出現しないということは、
2:06:15	札同成分が多くない。
2:06:19	ということをせ証明しないといけなくなってくると思うんですよね。
2:06:22	それは少なくともそうすると、12号機の再出動や、
2:06:27	このある伊奈のような指図が、
2:06:30	その近傍ではほとんどないんですよっていうことをそれなりに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:34	ボーリング調査なり、そうねして組成分析して、物理試験ですよ ね。して証明せざるをえないと思うんですけどいかがですか。い わゆる、
2:06:43	そういう具体的な話をしないと、
2:06:46	難しいんじゃないかなと思うんですが、この歳出だけが液状化の 強度を下げてる要因とはまだ、
2:06:54	十分な何て言うんですかね妥当性ってのが説明できてるわけでは ないのかもしれませんが、
2:07:01	少なくともここでこういうことを言うのであれば、そこまでやる 必要があると思うんですけど。
2:07:10	北海道電力の辰田です。ちょっと記載の方をちょっと修正したい と思います。
2:07:16	今この記載したような表現で追加今、木崎さんがおっしゃった追 加の調査とかする予定はございませんので、数字、新しいエリア 分けの考え方っていうところも含めて、
2:07:31	僕が言ってるのはね、その追加試験をさらに海でやる必要がない のかっていうこと言ってるんで、それはないというのであれば、 なぜないのかってここで言うと、明らかにこれ言ってる土佐首藤 がないからって言ってるわけですよ。
2:07:45	ただその最終がないということちゃんと施設証明しないといけ ないよね運営で、
2:07:50	類7のような、いわゆる取水行動近くでは、
2:07:54	ベース資格というよりは、その設計ための中に出てくるか出てこ ないのかという話ですよ。
2:08:05	解析モデルの中でですよ。うん。
2:08:08	そういったところを意味含めて考えていったときに追加試験はい らないというのであれば、それなりにはなぜ要らないかというと ころで言ってるのは、
2:08:17	赤城化強度の小さい土葬が出現しないとは言ってるけどそれは多 分暗に指し都度、
2:08:23	主体的な地盤の突出が現れないってことを言いたいんだと思う んですけどREナカと、うん。
2:08:30	宇佐市須藤主体の
2:08:33	それだけじゃないですけどね。なるほど。
2:08:35	プラスとバツで書いてあるグラフ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:38	ではまだその液状化、強度として低いものは別の要因がありそうですね、
2:08:44	それも含めていったときに、損益状況等が小さくないと言い、言い切れる材料は何ですかって言ったときに、
2:08:53	言い切れるものがあるのかないのか。
2:08:56	簡単に言うとね。
2:08:58	或いはより小さい塗装があったとしたらどうすんですか。
2:09:02	さらに下限値がある伊奈が下限値としては限らないですね。
2:09:12	で一番最も影響がありそうなある伊奈に近い。
2:09:16	取水口とかあの辺の話ですね。一部確かに、水路の一部をやりますよ。だけど、
2:09:22	それだけで十分ですかって話はあるわけですね。
2:09:47	あくまでもですね我々の判断基準は、
2:09:50	科学的合理性のあるものに対して、
2:09:54	判断を判断基準にしてくださいっていうことをずっと
2:09:58	先行サイトを申し上げてますので、同じようにですねやはり、
2:10:03	科学的、工学的でも構いませんけど、そういった効率性のある説明をちゃんと説明いただく必要があると思うので、
2:10:11	あくまでも定性的とか、あれではなくて、あくまでももうこういうような具体的な数字を、データがあるので問題ないんだっていうことをはっきり言わない限りは、
2:10:22	そこは払拭したことになると思うんですね。
2:10:26	しかも遂行で、
2:10:30	基本的にふさげば、それ故、転げてしまうというか転倒してしまえば、取水性を失ってしまうこともあるし、かなりその地盤の
2:10:41	変形っていうかある程度変形が大きくなったとしたならば、その主いわゆる貯留堰の機能を持ってるわけだから、そこでのね、相対変位の関係からして、
2:10:53	そのカトウ性から含めてね、十分な安全を確保できるのかっていうこと。
2:10:59	を考えなきゃいけないんで、取水口といえども、基本的にはかなり
2:11:05	津波防護施設、
2:11:08	の機能を一部持ってるし、その取水性を確保するために、そう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:15	S s 機能上維持しなきゃいけないとかいろんな複数の機能を、割と重要な役割を担ってるんですよね。そうしたところで基本的に、
2:11:27	地盤調査をどの程度にすればいいのか。
2:11:30	そのためには何を判断基準にすればいいのかということを考えないといけないと思います。
2:11:38	北海道電力の立田です。
2:11:41	ちょうど今の記載はちょっと世古に限ったちょっと状況の書き方になってますんでもう少しデータ見ながらもう少し、
2:11:53	分析というか
2:11:56	なんていう科学的にいえるような、ちょっと実データ見て、ちょっとこの記載見直させていただきたいと思います。
2:12:04	例えばですね、液状化試験を行うような、
2:12:09	凍結サンプリングとか、または層をDPサンプリングとかね、クリップさんでGPサンプリングとかそういったものじゃなくても、
2:12:18	例えばすずどれだけの成分があるかと、通常の
2:12:22	ボーリングでもいわゆるするわけですねサンプリングとしては、
2:12:26	成分成分を成分というかわゆる粒度分布を、を把握するためだけだったら通常のボーリングデータでもできるわけですねボーリングでもね。
2:12:36	それも含めて、何が一番得策なのかをよく考えてですね、
2:12:42	その根拠を拡充させていただきたいと思います。以上です。
2:12:47	該当電力の辰田で承知しました。
2:12:50	ちょっとデータの、ちょっと整理をさせていただいてこの記載見直させていただきます。
2:12:55	以上です。一応コメント的な話は、5個以上です。
2:13:04	はい。江藤規制庁以上です。今のお話は、今中のこのコメント回答1-4にしか、
2:13:10	出てなかったんですけどちょっと今のお話から言うときちっと整理が
2:13:14	やるってことはあれですかね。
2:13:18	まとめ資料で、或いは浅川タシロ、
2:13:21	とりあえず、ちゃんと資料化して科学的な根拠を持って説明を、
2:13:28	要はこの審査会合までに整理をいただけるという理解ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:14	そこでやっぱりできれば、
2:14:16	やりなさいです。
2:14:18	基本的に言わされ、
2:15:28	今庁内打ち合わせ中で少々お待ちください。
2:15:36	一つというのはある稲永さん後、今以外やられてるその応益調教動特性の方で一番低いわけですね3号機の中で、
2:15:44	それはすすの分が多いから、
2:15:46	強度特性が低いんですっていう、小さいんですっていうことは、そっちが言ってる場合だと思うんですね。神戸、
2:15:54	資料の示し方からすると、
2:15:56	それだけじゃないですけどRE8とかあの辺はもう小さい値は小さいんでしょうけど、そういったものも含めていったときに、
2:16:05	じゃあ、
2:16:11	液状化の可能性が非常に、
2:16:14	高い位置として、
2:16:16	その代表性として、じゃあ今十分なのかっていうと、
2:16:20	十分なのかってのはまだわからないわけですね特にその中で取水口に関しては、近傍ではあるけども、
2:16:27	それだけで十分かどうか、なぜその
2:16:31	このRE
2:16:33	7のように液状化、
2:16:35	強毒性が、
2:16:38	小さいものが現れるのか、差分が多い部分が含まれるのかとそれはそちらの答えとしてはある。
2:16:44	地層の部分はまだ、1号機の物性値がまだ少し残ってる部分もあって差分が多いんです。そういう説明でしたよね。
2:16:52	であるんであればその境界に近いところはそうそう可能性はありますよねって話があって、
2:16:57	素行に関しては、本当の
2:17:03	この上のところで、3号機の運用のところで、安全側の数値っていうか代表的な数字、保守的な数字。
2:17:12	ほんとにRe8だけでいいんですかって話ですよ。
2:17:16	その時にもうその時に今、
2:17:20	幾つか追加はありましたけど一つがそこでそれで一つだけで十分ですかっていうことだと思うんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:17:27	特に取水口に関してはいろんな機能を、
2:17:31	期待する。
2:17:32	施設でもあるので、
2:17:34	そこを設計する上で十分な代表性を示していますかということ。
2:17:39	その後、そう。
2:17:41	なかなかその液状化試験をやるためにはサンプリングを含めて大変だと思うんです実質的にはね。
2:17:46	なかなか
2:17:49	解析が多くて、基本的には、
2:17:52	供試ボーリングが回ってしまってなかなか供試体が取れないって いうこともよくは、他サイトと言われてる話ですから、
2:17:59	御社も火災ってことであれば一緒だと思うんですよ。
2:18:03	そういったときに、じゃあ、それ以外のもので、何をもって説明 するのって言ったときに、
2:18:08	説明層厚に行ったときに説明が楠がやらないようなところまでは 見通しをつける必要があるんじゃないかなとは思いますが。
2:18:15	言ってる意味わかります。
2:18:17	またそこで売ったら半年かかっちゃうよね。もう1個のボーリン グとかとサンプリングのために、
2:18:23	ボーリングを凍結サンプリングしのGPだったら終わり。
2:18:28	対応可能かもしれないけど、凍結サンプリングだって順番待ちだ から、そんな簡単にいい。
2:18:34	頼んですぐやってもらえるものではないですよ。
2:18:37	そっから考えると
2:18:40	しっかりと思うと、
2:18:43	ボーリングデータは、いや凍結サンプリングとかそういった液状 化試験結果は、ここまでやっておけば十分だということはある程 度見通しはつけておく必要があると思うんですけど。
2:19:02	北海道電力の立田です。この記載は、見直させていただくとかこ とは変わらないんですけどもちょっと次回の会合とか、次、次回 のヒアリング資料までにちょっとデータちょっと見ながら、
2:19:16	ちょっといえることをちょっと整理させていただいて、
2:19:19	この遂行へのちょっと重要度というか認識しましたので、追加調 査するかどうかもちょっと含めてこの記載を考えさせていただきます。 以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:36	はい。
2:19:37	その他、
2:19:39	特に規制庁わからなければ、
2:19:41	コメント、その前に北電の方から何か聞きたいこととかありますか。いいですか。
2:19:48	はい、じゃあ、よければ資料1の、
2:19:53	ごめんなさい、先ほどの資料で資料1-4かな。
2:19:56	これに基づいてコメントの、
2:20:00	継続か完了かというのを確認していきたいと思います。
2:20:03	まずナンバーワン。
2:20:06	ナンバーワンについては、
2:20:10	ある程度ちょっと説明のロジックはちょっと、
2:20:15	やっていただいたものちょっとこんん何かちょっとまだ足りないところがあるのでこれちょっと一応今これから、
2:20:22	補強をやっていただくような形になると思いますが、一旦じゃこの説明は良という形でいいですかね。はい。じゃあこれ完了として今日出た。
2:20:32	記載のアベについてはまた別途そこで整理いただくようお願いします。
2:20:39	はい、じゃあ1についてはJ A S M I N Eということになります。2番目。
2:20:44	これはそうですね。これはもうOKすかせん断波速度についてはOKですね。
2:20:50	次3番目。
2:20:53	と、
2:20:55	何だ、
2:20:58	No.12ー。
2:21:04	ああ、そうですね。
2:21:06	はい、じゃあ難波さんも経営ですね、No.12もOKということにします。
2:21:12	はい。その次、
2:21:14	ナンバー6。
2:21:16	埋め立て時の施工状況これ大体間瀬説明をなされたかと思って私はOKかなと思ったんですけど、中橋さんもこれもよろしいですかね。はい、じゃあこれを配信します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:27	7、7 番目。
2:21:31	論理構成の話だからもう、これもさっきのナンバーワンと同じですね、今これ済みにして、ただ記載適正化をいただけますか。
2:21:39	ちょっと伊波ナンバー8については、
2:21:45	はい、じゃあ、
2:21:51	はい。
2:21:52	じゃあ、ナンバー8 の記載適正化の上一応今回は了となりますとその次、No.10 に行きまして、
2:22:04	はい。
2:22:07	はい、じゃあこれは難波城江藤完了にします。
2:22:11	No.11、これは、
2:22:14	運営とか私の施設から少し文章が適正化すればオッケーだと思うんで一応これは角にしたいと思います。
2:22:23	山路にはおっきいですね、10 ナンバー13、
2:22:28	もう。
2:22:31	これも記載の適正化これも鷺見医師。
2:22:36	はい。
2:22:37	はい。14 番、仲さんこれよろしいですかね。はい。
2:22:48	はい。うん。資料反映箇所、これの前も何かあってなかった話いきましたね。きちっと見てくださいね。
2:22:56	はい。No.15 についてはこれは継続ですね。
2:23:01	はい。
2:23:05	No.16 は、
2:23:12	はい。
2:23:13	量ですね、これはナンバー0 が鷺見喜納ります。
2:23:16	No.17 については土肥。
2:23:20	一応、反映がなされていったんでは、じゃこれ鷺見ん。
2:23:26	そっか。
2:23:28	そうですねナカサノ杯コメントちょっと。
2:23:39	はい。今日コメントも出てますけど一応 17 もあわせて一応継続させていただきます。
2:23:45	18 番については、
2:23:55	説明ロジックだけの話だから、これは一応鷺見にした上でまた説明ロジックをきちっと
2:24:00	説明いただけるようお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:02	その次はNo.19。
2:24:37	はい。
2:24:39	規制庁矢崎ですここに関してコメントが、見通しをつけるというところで、見通しをつけるということになると、そちらがその設置許可までにやろうとしている。
2:24:48	結果をもってして見通しがついたということなるので、
2:24:51	そうしないと回答したことになるんで、
2:24:54	申し訳ないんですけどこれ、一応その整理分析性調査して、分析が終わった段階で、一応その結果を見て判断したいと思います。
2:25:07	よろしいですか。
2:25:09	向こうコメント。
2:26:45	ちょっと今事業者の方で確認中ですな少々お待ちください。
2:27:07	北海道電力の勝ですいません渡しました。
2:27:11	衛藤。
2:27:13	この記載、
2:27:16	セイソウ民話で、許可段階での見通しということですので、
2:27:22	実際には今あるいうものもちょっと少ないことは少ないんですけど、
2:27:28	その辺をちょっと整理して、見通しをいえるかどうかの話を許可段階までに説明するということですので、
2:27:38	ちょっと一部、
2:27:39	今やってる結果ももしくはそ出すかもしれませんが、ちょっとその辺も含めての記載をさせていただきます。見通しということで、了解しました。
2:28:04	はい。ナンバー20の方の話については一応これは済みということで、あんなバーン二重の、
2:28:13	指摘事項の
2:28:15	ナンバー20は粒度分布は、
2:28:20	はい、じゃあ20日塗料とします。はい。コメントの確認については以上となります。衛藤双方で何か確認したいこととか、
2:28:30	ございますか。
2:28:32	よろしいですか。
2:28:33	はい。
2:28:34	じゃあ、今日のヒアリングは以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。